magicolor® 7440
リファレンスガイド

4039-9568-13K

1800811-014D

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標および商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標および商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。

4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第３者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

OpenSSL Statement

OpenSSL License

Original SSLeay License

もくじ

1 NetWare での使い方

NetWare による利用

プリンタコントローラは、以下の環境をサポートしています。

NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	バインダリ /NDS	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS(lpr)	

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンタモードの場合

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1 クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバにログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、[Enter] キーを押します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。

6 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

7 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 印刷： 有効
– フレームタイプ：自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
– モード： Nprinter/Rprinter
– プリンタ名： プリンタ名を設定します。（初期値：MC7440-XXXXXX）
– プリンタ番号： プリンタ番号（0 ～ 255）を設定します。255 を設定すると「自動」になります。

8 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

9 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ 0 に、作成したプリンタが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバモードの場合

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1 クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバにログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、［Enter］キーを押します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 ［Esc］キーを押し、Pconsole を終了します。

6 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 印刷： 有効

– フレームタイプ： 自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）

– モード： PServer

– プリントサーバ名： 手順 4 で作成したプリントサーバ名

– プリントサーバパスワード：NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。

– プリントキュー取得間隔： （必要に応じて変更してください）

– バインダリ /NDS： バインダリ /NDS

– 優先ファイルサーバ： Pserver を接続するファイルサーバ名

7 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

8 NetWare Server のコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

9 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続されていることを確認してください。

NetWare 4.x リモートプリンタモード（NDS）の場合

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 印刷： 有効
– フレームタイプ：自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
– モード： Nprinter/Rprinter
– プリンタ名： プリンタ名を設定します。（初期値：MC7440-XXXXXX）
– プリンタ番号： プリンタ番号（0 ～ 255）を設定します。255 を設定すると「自動」になります。

6 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

7 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

8 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ 0 に、作成したプリンタが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード（NDS）の場合

プリントサーバモードを使用する場合は、NetWare サーバに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ（非 NDPS）」を選択します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、［作成］をクリックします。

キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

- NetWare 印刷： 有効
- フレームタイプ： 自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
- モード： PServer
- プリントサーバ名： 手順 4 で作成したプリントサーバ名
- プリントサーバパスワード：NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
- プリントキュー取得間隔： 1（必要に応じて変更してください）
- バインダリ /NDS： NDS
- 優先 NDS コンテキスト名：Pserver を接続するコンテキスト名
- 優先 NDS ツリー名： Pserver がログインするツリー名

6 プリンタの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

7 NetWare サーバのコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

8 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続していることを確認してください。

NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service（NDPS）の場合

NDPS に関する設定を行う前に､NDPS ブローカと NDPS マネージャが作成、ロードされていることを確認してください。

NetWare サーバで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認して、作業を行ってください。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWAdmin を起動します。

3 プリンタエージェントを作成する「組織」､「部門」コンテナを右クリックし、作成より､「NDPS プリンタ」を選択します。

4 「NDPS プリンタ名」欄に､「プリンタ名」を入力します。

5 「プリンタエージェントのソース」欄で「新規プリンタエージェントを作成する」を選択し､「作成」をクリックします。

6 プリンタエージェント名を確認し､「NDPS マネージャ名」欄で、NDPS マネージャをブラウズし、登録します。

7 「ゲートウェイタイプ」で､「Novell プリンタゲートウェイ」を選択し、登録します。

8 「Novell NDPS の設定」ウインドウで、プリンタ「(なし)」、ポートハンドラ「Novell ポートハンドラ」を選択し、登録します。

9 「接続タイプ」で､「リモート（IP 上で LPR)」を選択し、登録します。

10 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンタ名に「Print」と入力して「完了」を押して登録します。

11 プリンタドライバの登録画面が現れますが、各 OS とも「なし」を選択して登録を終了してください。

プリンタを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、キューの割当ては、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

NetWare サーバを使用するときのクライアント（Windows）の設定

1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

Windows 7 の場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「デバイスとプリンター」をクリックします。

［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

2 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0/Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

Windows 7 の場合は、「プリンターの追加」をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

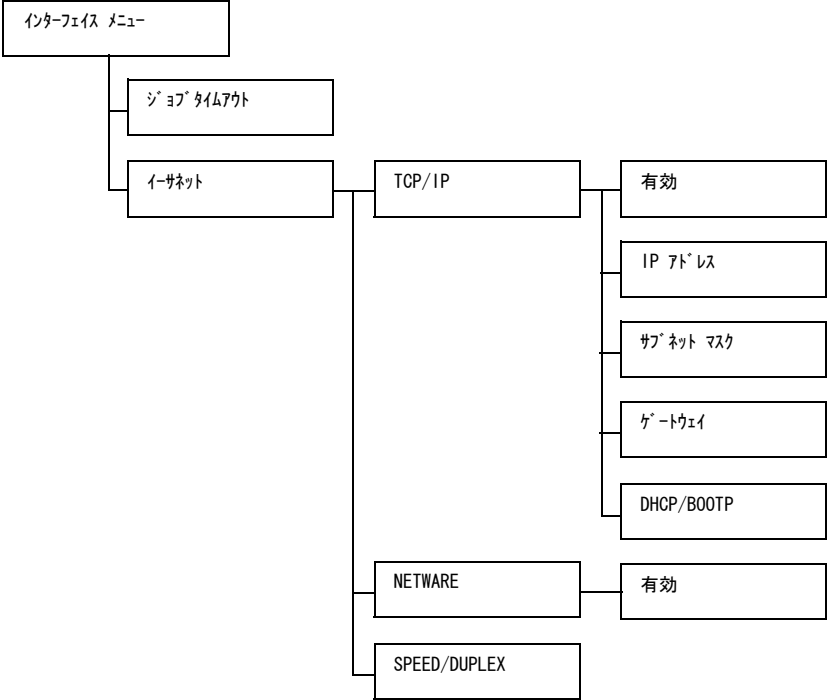
3 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンタ名）を指定します。

4 プリンタのモデル一覧で、CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタドライバに応じて指定します。

5 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

イーサネット設定メニューについて

イーサネットメニュー

設定メニューの構成

イーサネットメニューの表示

プリンタの操作パネルで以下のキー操作を行い、プリンタのイーサネットメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
* メニュー 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ
* メニュー 選択 ↵	ｼﾞｮﾌﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
▽	ｲｰｻﾈｯﾄ
* メニュー 選択 ↵	TCP/IP

イーサネットの設定を変更すると、プリンタが自動的に再起動します。

イーサネットメニューの設定項目

プリンタがネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

手動で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する場合は、はじめに DHCP セットの設定をオフにしてください。

TCP/IP

有効

目的	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、TCP/IP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、TCP/IP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IP アドレス

目的	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

サブネット マスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、プリンタの利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	255.255.000.000

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルータ／ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザからもプリンタを利用できるようにする場合に、ルータ／ゲートウェイのアドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

DHCP/BOOTP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバまたは BOOTP サーバがある場合に、DHCP サーバまたは BOOTP サーバから自動的に IP アドレスを取得、また他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	ｵﾝ ｵﾌ
初期値	ｵﾝ

NETWARE

有効

目的	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、NetWare が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、NetWare が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

SPEED/DUPLEX

目的	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
設定値	自動 10BASE FULL 10BASE HALF 100BASE FULL 100BASE HALF 1000BASE FULL
初期値	自動

3 Crown プリントモニタ + の使い方

Crown プリントモニタ + のインストール後に Crown ポートを追加する

Crown プリントモニタ + のインストールが終了した後でも、以下の手順で新しい Crown ポートを追加することができます。

以下の説明では、Crown プリントモニタ + がすでにコンピュータにインストールされているものとします。

Windows XP/2000/NT4.0 の場合

1 「スタート」—「プリンタと FAX」を選択します。

Windows 2000 と Windows NT4.0 の場合は、「スタート」—「設定」—「プリンタ」を選択します。

2 プリンタのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

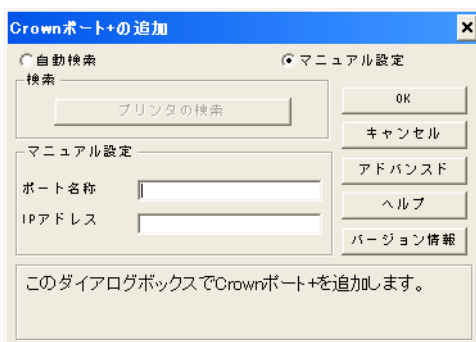
3 「ポート」タブを選択します。

4 「ポートの追加」ボタンをクリックします。

「プリンタポート」画面が表示されます。

5 「利用可能なポートの種類」リストから「Crown Port+」を選択し、「新しいポート」ボタンをクリックします。

「Crown ポート + の追加」画面が表示されます。

Windows NT4.0 では、「利用可能なプリンタポート」リストから「Crown Port+」を選択します。

6 「IP アドレス」テキストボックスに、プリンタの IP アドレスを入力します。

このアドレスは、一意的なホスト名、またはプリンタのドット表記識別子（IP アドレス）を入力してください。

本プリンタでは、プリンタの検索機能はサポートしません。

7 「ポート名称」テキストボックスに、ポートの論理名を入力します。

ポートの論理名は、ポートの記述識別子です。各ポート名は一意的でなければなりません。

ポート名は、最大 128 文字まで入力できます。

「IP アドレス」テキストボックスに何も入力しなかった場合、「ポート名称」テキストボックスに入力した文字列が「IP アドレス」テキストボックスにもそのまま入力されます。必要に応じて、それぞれの値を変更してください。

8 「OK」ボタンをクリックします。

「アドバンスド」ボタンをクリックすると、「CrownPort の詳細設定」画面が表示され、Crown ポートの詳細な設定が行えます。詳しくは、「Crown ポートの詳細設定」（p.23）をごらんください。

9 「プリンタポート」画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

10 プリンタのプロパティ画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合は、「OK」ボタンをクリックします。

Windows Me/98SE の場合

1 「スタート」—「設定」—「プリンタ」を選択します。

2 プリンタのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

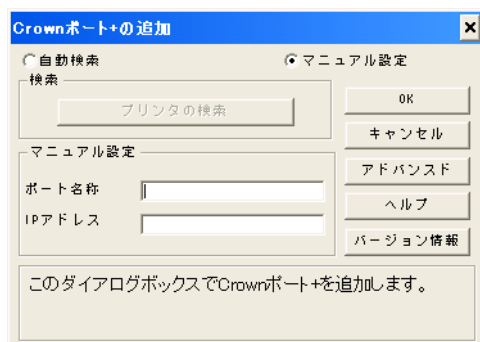
3 「詳細」タブを選択します。

4 「ポートの追加」ボタンをクリックします。

「ポートの追加」画面が表示されます。

5 「その他」を選択し、「追加するポートの種類」リストから「Crown Port+」を選択します。

6 「OK」ボタンをクリックします。

「Crown ポート + の追加」画面が表示されます。

7 「IP アドレス」テキストボックスに、プリンタの IP アドレスを入力します。

> このアドレスは、一意的なホスト名、またはプリンタのドット表記識別子（IP アドレス）を入力してください。

> 本プリンタでは、プリンタの検索機能はサポートしません。

8 「ポート名称」テキストボックスに、ポートの論理名を入力します。

> ポートの論理名は、ポートの記述識別子です。各ポート名は一意的でなければなりません。

> ポート名は、最大 128 文字まで入力できます。

> 「IP アドレス」テキストボックスに何も入力しなかった場合、「ポート名称」テキストボックスに入力した文字列が「IP アドレス」テキストボックスにもそのまま入力されます。必要に応じて、それぞれの値を変更してください。

9 「OK」ボタンをクリックします。

> 「アドバンスド」ボタンをクリックすると、「CrownPort の詳細設定」画面が表示され、Crown ポートの詳細な設定が行えます。詳しくは、「Crown ポートの詳細設定」（p.23）をごらんください。

10 プリンタのプロパティ画面で「OK」ボタンをクリックします。

Crown ポートの詳細設定

「CrownPort の詳細設定」画面で、Crown ポートの詳細な設定を行います。

項目	初期設定	機能
ステータス更新間隔	5 秒	このポートに接続されたプリンタのステータス情報で、Crown プリントモニタ + がプリントマネージャを更新する間隔を設定します。
ステータス要求タイムアウト	10 秒	Crown プリントモニタ + がプリントマネージャにプリンタから応答がないことを通知するまでの、プリンタからの応答の待機時間を設定します。
送信要求タイムアウト	60 分	Crown プリントモニタ + が Microsoft プリントスプーラに制御を返すまで、プリントジョブが送信されるのを待機する時間を設定します。 タイマーで設定した時間が経過したときに、ジョブが Windows 2000/NT4 サーバ経由で送信済みの場合は、プリントジョブは自動的に終了し、システムから削除されます。 タイマーで設定した時間が経過したときに、ジョブがワークステーション経由で送信済みの場合は、Windows XP/2000/NT4 の「Print Spooler」ダイアログが現れ、応答の再試行を行うかキャンセルするかの確認メッセージが表示されます。応答を行うかどうかに関係なく、ジョブは終了し、システムから削除されます。

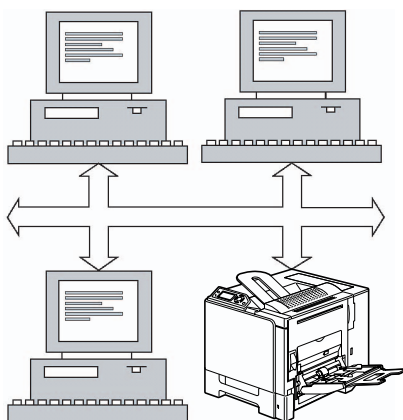
項目	初期設定	機能
ポートの設定	9100	9100 を選択してください。 本プリンタでは、ポート 35 はサポートしません。

ネットワーク印刷
4

ネットワーク接続

概念図

プリンタを TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスをプリンタに設定しておく必要があります。

多くの場合、他で使用されていない IP アドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルータ）アドレスも入力する必要があります。

接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタで、伝送速度が 10 ～ 1000 メガビット／秒（Mbit/s）です。

プリンタをイーサネットネットワークに接続するときは、プリンタの IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。プリンタの工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピュータとプリンタの IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常プリンタの初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、プリンタの電源をオンにすると、DHCP サーバによってプリンタの IP アドレスが自動的に割り当てられます。（DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」（p.32）を参照してください。）

プリンタの IP アドレスが自動的に設定されない場合は、プリンタの設定で DHCP が使用可能になっているかを確認してください。
DHCP が使用可能になっていない場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ / TCP/IP/DHCP/BOOTP」メニューで「ｵﾝ」を選択してください。

1 プリンタをネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクタ（RJ45）を、プリンタのインターフェースパネルのイーサネットポートに差し込んで、プリンタをネットワークに接続します。

2 プリンタのメッセージ画面に「印刷可」と表示されたら、設定リストを印刷し、IP アドレスが設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
★ メニュー 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	印刷ﾒﾆｭｰ
★ メニュー 選択 ↵	設定ﾘｽﾄ
★ メニュー 選択 ↵	印刷
★ メニュー 選択 ↵	

3 プリンタドライバをインストールします。

DHCP サーバに接続できない場合、169.254.0.0 から 169.254.255.255 の範囲で、IP アドレスが自動的に設定されます。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。（詳しくは、第 2 章 “ イーサネット設定メニューについて ” を参照してください。）

手動で IP アドレスを設定する場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/DHCP/BOOTP」で「ｵﾌ」を選択してください。
また、IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタドライバを再インストールしてください。
手動で IP アドレスを変更した場合、DHCP 設定は自動的に「ｵﾌ」になります。

ご注意

プリンタの IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタのメッセージ画面に「印刷可」と表示されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
メニュー選択	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ
メニュー選択	ｼﾞｮﾌﾞﾀｲﾑｱｳﾄ
▽	ｲｰｻﾈｯﾄ
メニュー選択	TCP/IP
メニュー選択	有効
▽	IP ｱﾄﾞﾚｽ
メニュー選択	IP ｱﾄﾞﾚｽ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
メニュー選択	IP ｱﾄﾞﾚｽ xxx.xxx.xxx.xxx

3 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順 4 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▽	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
*メニュー選択↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 2̲55.255.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
*メニュー選択↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ X̲XX.XXX.XXX.XXX

4 ゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▽	ｹﾞｰﾄｳｪｲ
*メニュー選択↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ 0̲00.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
*メニュー選択↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ xxx.xxx.xxx.xxx

5 設定変更を保存し、プリンタを印刷可能な状態に戻します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
ｷｬﾝｾﾙ もしくは ◁	キーを 2 回押して、プリンタを再起動します。

6 プリンタを再起動した後、設定リスト（Configuration Page）を印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
* ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	印刷ﾒﾆｭｰ
* ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	設定ﾘｽﾄ
* ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	印刷
* ﾒﾆｭｰ 選択 ↵	

7 プリンタドライバをインストールします。

ネットワーク印刷

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- BOOTP
- DHCP
- HTTP
- IPP
- IPX/SPX
- LPD/LPR
- NetBEUI
- SLP
- SNMP
- Port 9100
- SMB
- SMTP
- IPX/SPX
- NetBEUI

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語と、IPP 印刷の方法について説明します。

BOOTP

BOOTP（Bootstrap Protocol）は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバの IP アドレス、
起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

HTTP

HTTP（HyperText Transfer Protocol）は、ワールドワイドウェブ（WWW）で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバとブラウザの動作が規定されています。例えば、ブラウザで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバに送られます。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザは、プリンタの機能の確認、プリンタへのプリントジョブの送信、プリンタやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳細は、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷」（p.36）を参照してください。

IPX/SPX

IPX/SPX (Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange) は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

LPD/LPR

LPD/LPR（Line Printer Daemon/Line Printer Request）は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともと BSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピュータでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっています。

NetBEUI

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) は、IBM 社により開発されたネットワークプロトコルです。コンピュータ名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できます。

SLP

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピュータのホスト名やネットワークアドレスをユーザが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンタなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか（ユニキャスト）、受信可能な全エージェントに同時に送信されます（マルチキャスト）。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード（機器）に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード（機器）にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

ネットワーク上のルータはほとんどブロードキャストデータを通過させません。つまり、サブネット上から発信されたブロードキャストはルーティングされないか、またはそのルータに接続された他のどのサブネットにも転送されません（ルータ側から見ると、1 つのサブネットは、ルータのポートに接続されたすべてのコンピュータになります）。

これに対し、マルチキャストはルータによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピュータが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルータから転送されます。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス（エージェントと呼ばれます）は、そのデバイスに関するデータを MIB（Management Information Bases）に記録し、そのデータを SNMP リクエスタに返します。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

SMB

SMB（Server Message Block）は Windows 環境でファイルやプリンタなど、ネットワーク上のリソースを共有するためのプロトコルです。

Linux や UNIX などで、Samba というサーバーソフトウェアを利用すると、SMB を使ったサービスを提供することができます。

SMTP

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。

もともとはサーバ同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は電子メールクライアントソフトウェアが、POP を使用してサーバにメールを送信するためにも利用されています。

IPX/SPX

IPX/SPX (Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange) は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

NetBEUI

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) は、IBM 社により開発されたネットワークプロトコルです。コンピュータ名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できます。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷

Windows Vista/7/Server 2008 を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

Windows Server 2008 をお使いの場合

Windows Server 2008 をお使いの場合、プリンタドライバのインストールを行う前に OS 側で設定を行う必要があります。

1 ［スタート］をクリックします。

2 「管理ツール」から「サーバーマネージャ」を選択します。

ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

3 サーバーマネージャ画面の「機能の概要」から、「機能の追加」を選択します。

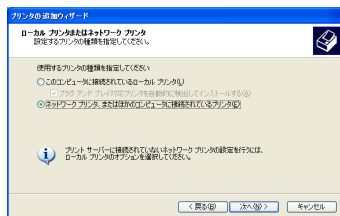
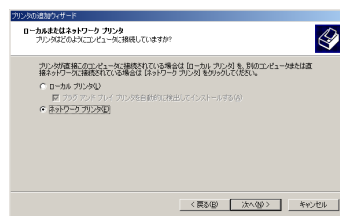
4 「インターネット印刷クライアント」にチェックして機能をインストールします。

5 コンピュータを再起動します。

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加（Windows XP/Server 2003/2000 の場合）

- Windows XP Home Edition の場合 :［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows XP Professional/Server 2003 の場合 :［スタート］ボタンをクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 2000 の場合 :［スタート］ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選択します。次に「プリンタの追加」をクリックします。

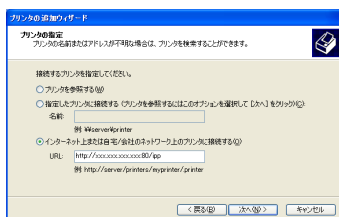
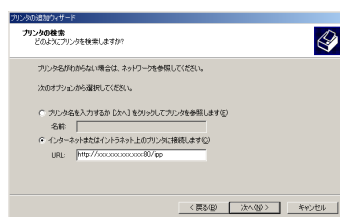
1 2 番目に表示される画面で「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合）、または「ネットワーク プリンタ」（Windows 2000 の場合）を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003

Windows 2000

2 次に表示される画面で、「URL」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp

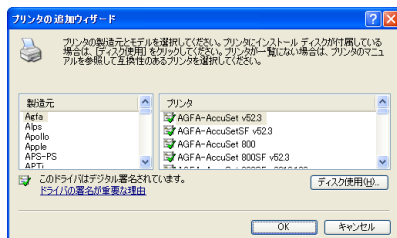
 Windows 2000 では、ポート 631 はサポートしません。

Windows XP/Server 2003

Windows 2000

- Windows XP/Server 2003 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、［ヘルプ］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。
- Windows 2000 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については［ヘルプ］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。

3 Windows XP/Server 2003 の場合：手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合：手順 2 で有効なパス名を入力すると、「KONICA MINOLTA magicolor 7440 プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタドライバがまだインストールされていないためです。［OK］をクリックします。

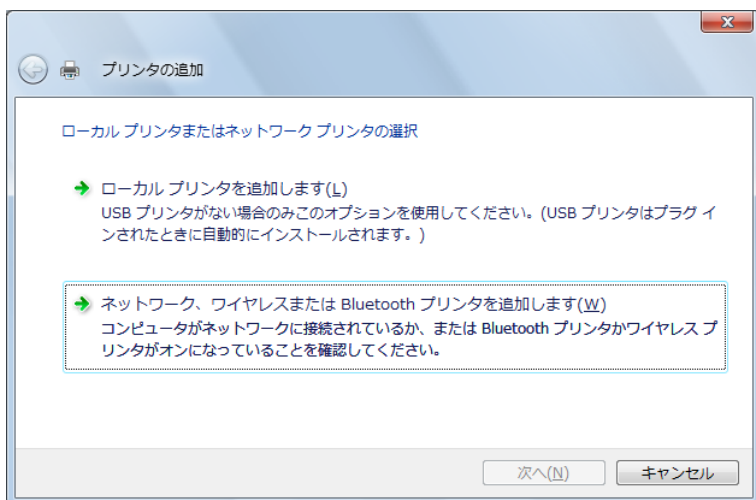
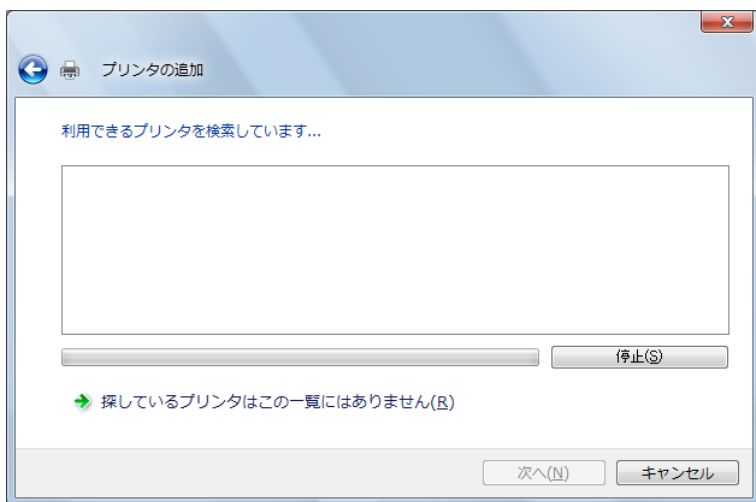
4 ［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ（例：drivers\windows 2000, XP, 2003\pcl\Japanese）を指定し、［OK］をクリックします。

5 プリンタドライバのインストールを完了します。

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加（Windows Vista/7/Server 2008 の場合）

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」（Windows Vista/Server 2008 の場合）/「デバイスとプリンターの表示」（Windows 7 の場合）をクリックし、プリンタ画面を表示します。

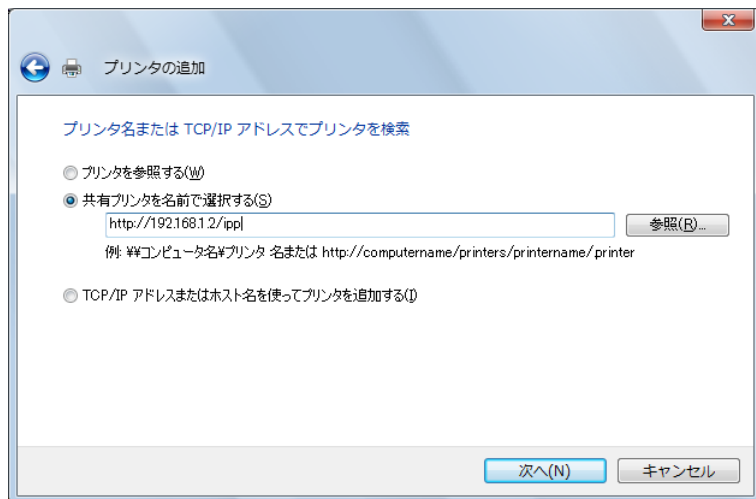
2 ツールバーの「プリンタのインストール」（Windows Vista/Server 2008 の場合）/「プリンターの追加」（Windows 7 の場合）をクリックします。

「プリンタの追加」が表示されます。

3 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

4 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

5 次に表示される画面で、「共有プリンタを名前で選択する」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

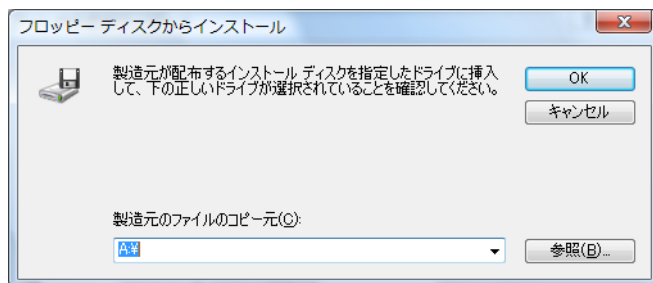
■ http://IP アドレス /ipp

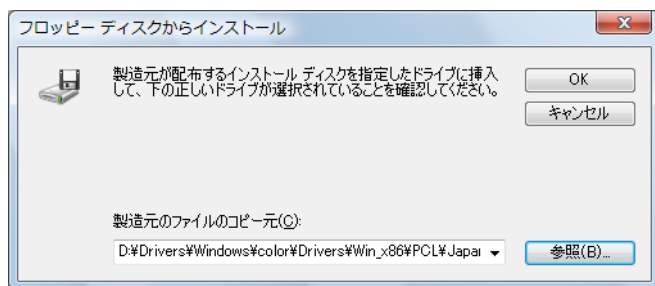
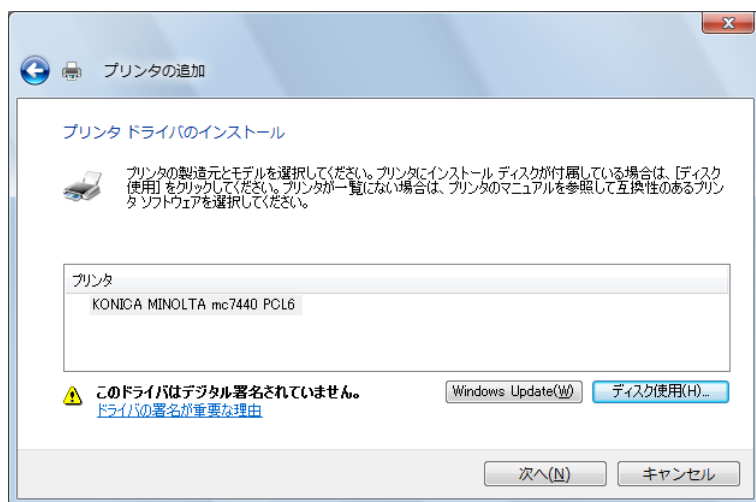
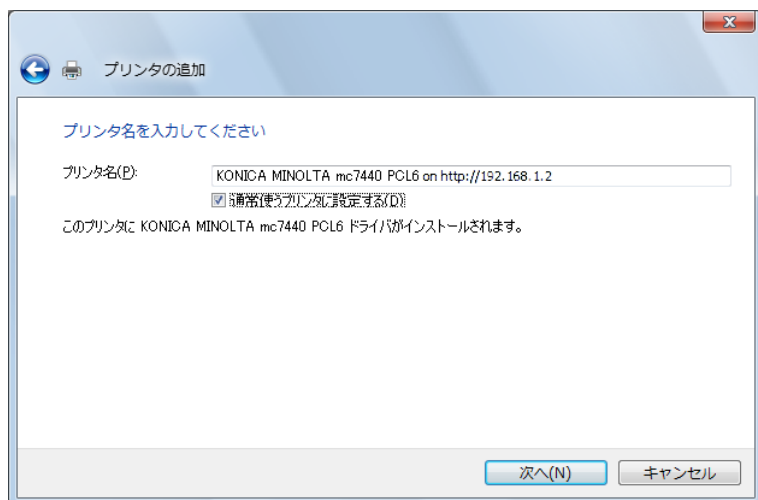
■ http://IP アドレス :80/ipp

■ http://IP アドレス :631/ipp

プリンタへ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。

■ 「プリンタへ接続できませんでした。名前が正しく入力されていて、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。」

6 [ディスク使用] をクリックします。

7 [参照] をクリックします。

8 CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PCL¥Japanese）を指定し、［開く］をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

10 [OK] をクリックします。

11 [次へ] をクリックします。

12 [完了] をクリックします。

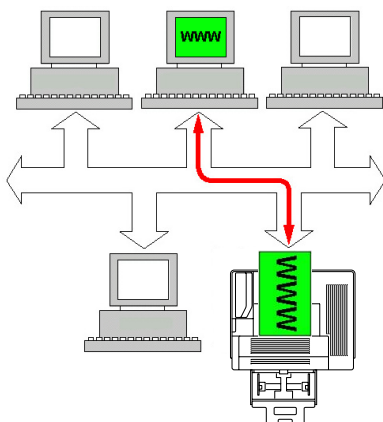
トラブルシューティング

症状	対応処置
SMB 印刷時にうまく印刷できない。	以下の手順で、プリンタをローカルにインストールし直してください。 1. プリンタフォルダからプリンタのアイコンを削除します。 2. プリンタドライバと SMB ポートを、システムから削除します。 3. プリンタの追加ウィザードを使用して、プリンタをローカルプリンタとしてインストールします。このとき、新規にローカルポートを作成し、SMB ポート名を指定してください。
サーバが Windows Server 2008/Server 2003 で、クライアントが Windows 7/Vista/XP/2000 のとき、ポイントアンドプリントでクライアント側の一部の機能が使えない。	クライアント側に直接プリンタドライバをインストールしてください。

PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection について

PageScope Web Connection は、プリンタに内蔵されている HTTP（Hyper-Text Transfer Protocol）ベースの Web ページで、Web ブラウザを使用してアクセスすることができます。

PageScope Web Connection を使用すると、プリンタのステータス（状況）や、プリンタで頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザを使用してネットワーク上のプリンタにアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上でプリンタの設定を変更することができます。

管理者からパスワードを知らされていないユーザは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、プリンタの操作パネルで設定できます。表示言語の設定の詳細については、magicolor 7440 ユーザーズガイドをごらんください。

また、PageScope Web Connection の「言語」プルダウンリストから言語を選択することもできます。

動作環境

PageScope Web Connection を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows 7/Server 2008/Vista/XP/Server 2003/2000/Me/98SE/NT4.0
- Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 以降
  Netscape Navigator バージョン 7.1 以降

  インターネットへ接続する必要はありません。

- お使いのコンピュータにTCP/IP接続ソフトウェアがインストールされていること（PageScope Web Connection で使用されます）
- お使いのコンピュータとプリンタの両方がネットワークに接続されていること

ローカル接続（USB もしくはパラレル接続）の場合は、PageScope Web Connection にアクセスできません。コンピュータとプリンタが USB ケーブルで接続されている場合は、ステータスディスプレイを使用してください。

Windows Server 2008 で接続の場合

Windows Server 2008 をお使いの場合、PageScope Web Connection の表示において、「システム」タブのみ表示され、「ジョブ」、「印刷」、「ネットワーク」のタブが表示されない場合があります。その場合、JAVA をインストールし、以下の手順でセキュリティ設定を行う必要があります。

インターネットエクスプローラーのすべての画面を閉じてください。

1 ［スタート］をクリックします。

2 「管理ツール」から「サーバーマネージャ」を選択します。

  ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

3 サーバーマネージャ画面の「セキュリティ情報」から、「IE ESC の構成」を選択します。

4 管理者とユーザーを「オフ」に設定します。

5 ［OK］をクリックします。

プリンタ内蔵 Web ページの設定

プリンタ内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの設定が必要です。

- プリンタの名前とアドレスを設定します。
- Web ブラウザ上で「プロキシなし」の設定を行います。

プリンタ名の設定

プリンタの内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由でプリンタ名を指定することもできます。

- プリンタに割り当てられた名前を使用する

  プリンタ名はコンピュータ内の IP ホストテーブル（ファイル名は“hosts”）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例：magicolor 7440）。IP アドレスよりもプリンタ名を使用する方が扱いやすい場合もあります。

  コンピュータ内のホストテーブルファイルの場所

  - Windows 7/Server 2008/Vista/XP/Server 2003/2000 Server
    ¥windows¥system32¥drivers¥etc¥hosts
  - Windows Me/98SE
    ¥windows¥hosts
  - Windows 2000/NT4.0
    ¥winnt¥system32¥drivers¥etc¥hosts

- プリンタの IP アドレスを使用する

  プリンタの IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンタが動作している場合は、入力する値として識別しやすい場合があります。プリンタの IP アドレスは、設定リスト（Configuration Page）に記載されています。

  プリンタの設定メニュー内の設定リスト（Configuration Page）の場所

  - 「印刷ﾒﾆｭｰ / 設定ﾘｽﾄ」メニュー

Web ブラウザの設定

プリンタはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定画面の「プロキシなし」のリストにプリンタの名前または IP アドレスを追加する必要があります。

この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

ここでの例では、プリンタの IP アドレスの部分を「xxx.xxx.xxx.xxx」と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずにお使いのプリンタの IP アドレスを入力してください。例えば、192.168.001.002 の場合は 192.168.1.2 として入力します。

Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）

1 Internet Explorer を起動します。

2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択します。

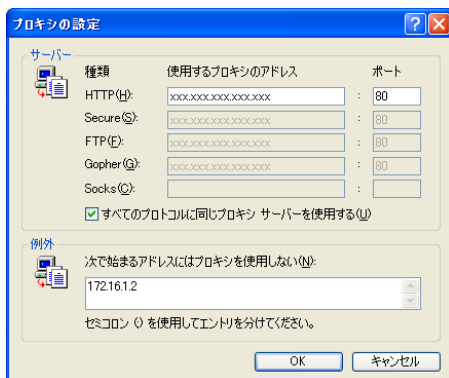
3 画面の「接続」タブをクリックします。

4 ［LAN の設定］ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定画面を表示します。

5 プロキシ サーバー内の［詳細設定］ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。

6 必要に応じて「例外」テキストボックスにお使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

7 ［OK］を 3 回クリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

8 URL 入力ボックスにプリンタの IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

Netscape Navigator（バージョン 7.1）

1 Netscape Navigator を起動します。

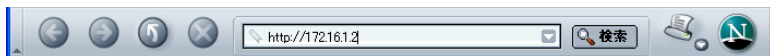
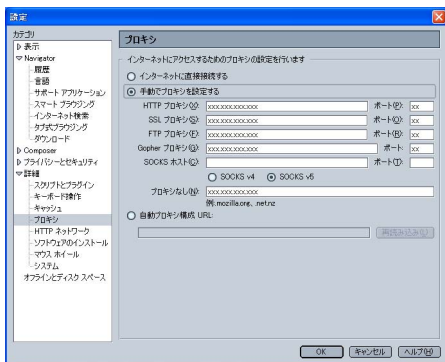
2 「編集」メニューから「設定」を選択します。

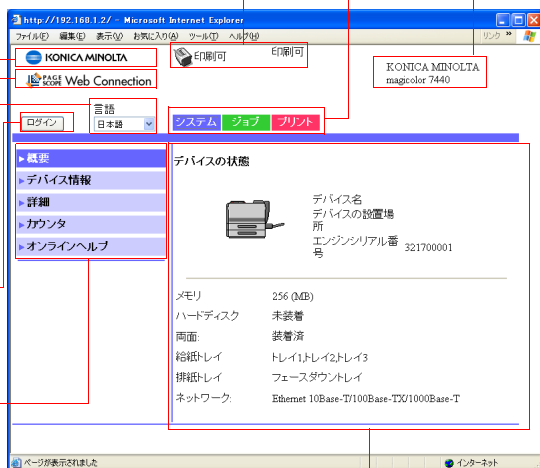
3 画面の左側の欄から「詳細／プロキシ」ディレクトリを選択します。

4 「手動でプロキシを設定する」を選択します。

5 「プロキシなし」テキストボックスに、最後のエントリの後にコンマを入力してから、お使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

6 ［OK］をクリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

7 URL 入力ボックスにプリンタの名前または IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

PageScope Web Connection ウィンドウについて

以下の画面図では、PageScope Web Connection ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

操作方法

メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。（「管理者モード」（p.53）を参照してください。）

ステータス表示

プリンタの現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディ	プリンタがオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	印刷可 印刷中
	注意	プリンタに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	用紙なし ﾄﾚｲ 1 ﾄﾅｰ残量少 Y
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	ﾄﾅｰなし Y 紙詰まり ﾄﾚｲ 1
	トラブル	プリンタを再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ XXX

ユーザモード

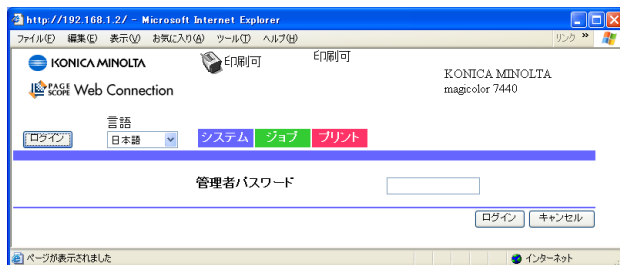
PageScope Web Connection を表示すると、自動的にユーザモードの状態になっています。ユーザモードでは設定内容を確認できますが、設定の変更はできません。

管理者モード

PageScope Web Connection 上で設定を変更する場合は、まず管理者モードに入る必要があります。

1 ［ログイン］ボタンをクリックします。

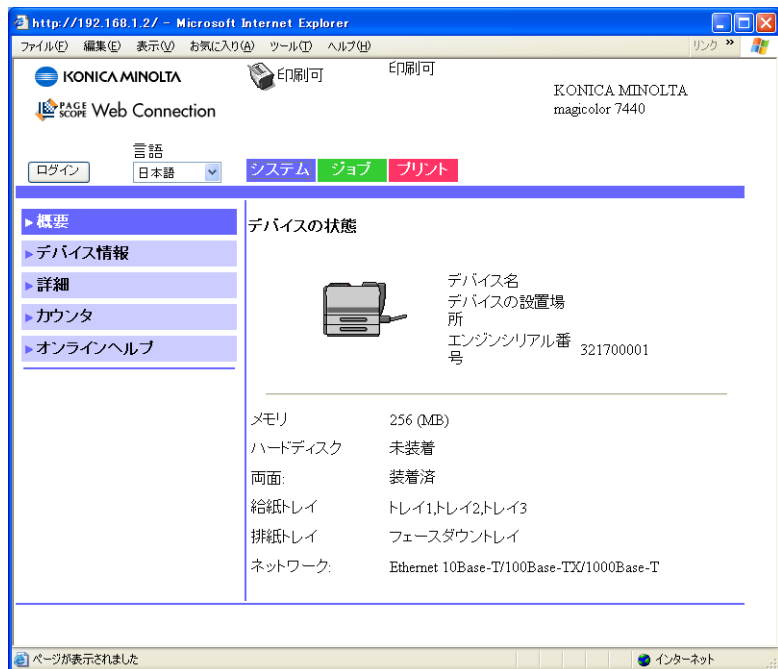
2 「アドミンパスワード」ボックスにパスワードを入力します。

初期設定ではパスワードは「administrator」に設定されています。管理者モードに入り、システム - 管理者パスワード画面で、このパスワードは変更することができます。

3 ［ログイン］ボタンをクリックします。

間違ったパスワードを入力すると、「正しいパスワードを入力してください。」というメッセージが表示されます。パスワードを入力しなおしてください。

プリンタのステータスの表示

システム画面

システム画面は、プリンタ内蔵の Web ページにアクセスしたときに最初に表示される画面です。この画面では、プリンタのステータス（状態）、現在のシステム構成、プリンタ名、他の設定画面へリンクされたタブやメニューが表示されます。

システム画面内の情報はすべて表示されるのみで、変更はできません。

概要（前ページ画面）

システム - 概要画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
プリンタ名／ステータス	プリンタ名と現在のステータスが表示されます。ステータスアイコンの横には、プリンタの操作パネルのメッセージウィンドウに表示されるのと同じメッセージが表示されます。 ステータス表示によって、プリンタから離れた場所からでもプリンタで発生している問題（用紙切れやトナー切れなど）を確認することができます。
デバイスの状態（プリンタの図）	アクセスしているプリンタのタイプを確認できます。プリンタの図は、装着されているオプションの状態が反映された表示になります。
メモリ	プリンタに装着されているメモリの量が表示されます。
ハードディスク	オプションのハードディスクがプリンタに装着されている場合は、ハードディスクのサイズが表示されます。 オプションのハードディスクがプリンタに装着されていない場合は、「未装着」と表示されます。
両面プリントユニット	オプションの両面プリントユニットが装着されているかどうかが表示されます（装着済、装着なし）。
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙ユニットを表示します。
排紙トレイ	プリンタに装着されている排紙トレイを表示します。
ネットワーク	プリンタに装備されているインターフェースが表示されます（イーサネット 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）。

デバイス情報

システム - デバイス情報画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
システムのバージョン	コントローラファームウェアのバージョンが表示されます。
操作パネルの言語	プリンタ操作パネルの表示言語が表示されます。
仕向	プリンタの国別仕様が表示されます。
管理者名	プリンタの管理者名が表示されます。

詳細

給紙トレイ

システム - 詳細 - 給紙トレイ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙ユニット（トレイ 1/2/3/4/5）が表示されます。
用紙サイズ	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
用紙	各トレイにセットされている用紙の残り具合が表示されます（レディ、空）。
［詳細］ボタン	クリックすると、トレイの詳細が表示されます。

給紙トレイ（詳細）

システム - 詳細 - 給紙トレイ - 詳細画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	給紙トレイの名称が表示されます。
用紙サイズ	用紙サイズが表示されます。
用紙種類	用紙の種類が表示されます。
容量	給紙トレイの最大容量が表示されます。
用紙	用紙の残量が表示されます。
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。

排紙トレイ

システム - 詳細 - 排紙トレイ画面では、以下の情報を確認できます。

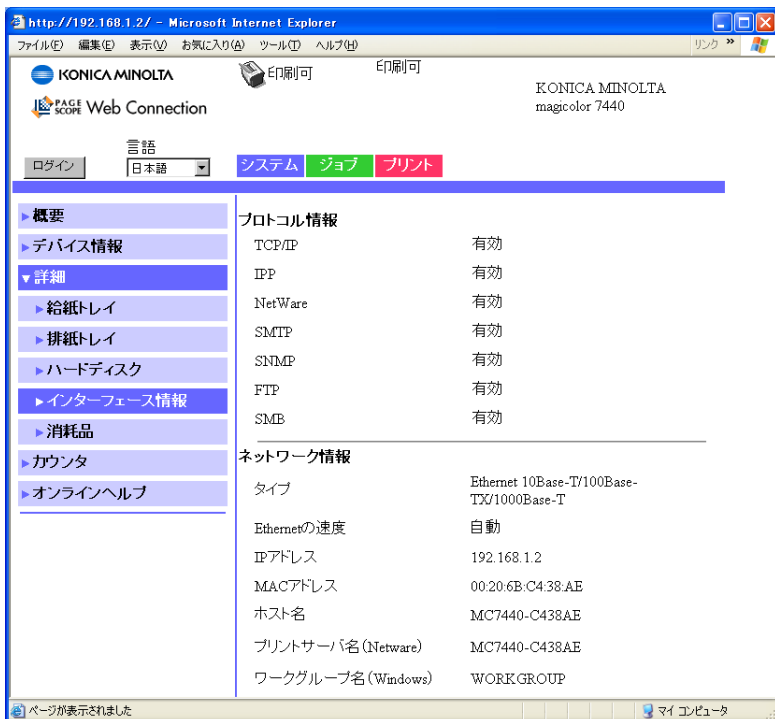
項目	説明
トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。
用紙	排紙トレイの状態（レディ、フル）が表示されます。

ハードディスク

システム - 詳細 - ハードディスク画面では、以下の情報を確認できます。

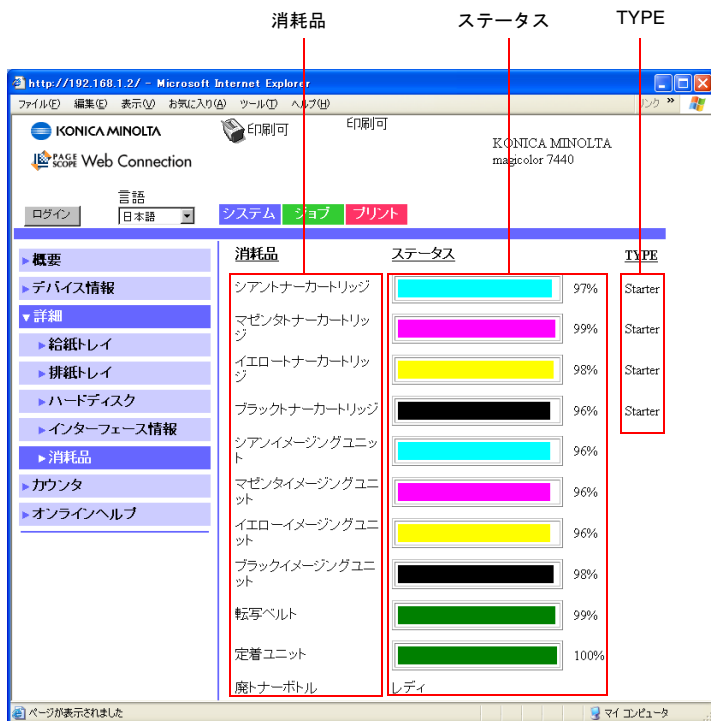
項目	説明
合計	ハードディスクの合計容量が表示されます。 装着されていない場合は、「-」が表示されます。
使用中	ハードディスクの使用容量が表示されます。 装着されていない場合は、「-」が表示されます。
残り	ハードディスクの残り容量が表示されます。 装着されていない場合は、「-」が表示されます。

システム - 詳細 - ハードディスク画面には「メモリーカード」が表示されますが、本機はコンパクトフラッシュ（CF）には対応していません。表示内容は無効ですので、ご注意ください。

インターフェイス情報

システム - 詳細 - インターフェイス情報画面では、以下の情報を確認できます。

項目		説明
プロトコル情報	TCP/IP	TCP/IP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 TCP/IP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	IPP	IPP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 IPP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	NetWare	NetWare が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 NetWare が無効になっている場合、「無効」が表示されます。

項目		説明
	SMTP	SMTP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 SMTP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	SNMP	SNMP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 SNMP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	FTP	FTP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 FTP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	SMB	SMB が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 SMB が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
ネットワーク情報	タイプ	プリンタに装着されているネットワークインターフェイスの種類が表示されます（イーサネット 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）。
	Ethernet の速度	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
	IP アドレス	イーサネットインターフェイスの IP アドレスが表示されます。
	MAC アドレス	イーサネットインターフェイスの MAC（Media Access Control）アドレスが表示されます。
	ホスト名	プリンタのホスト名が表示されます。
	プリントサーバ名（NetWare）	NetWare のプリントサーバ名が表示されます。
	ワークグループ名（Windows）	プリンタのドメイン名、ワークグループ名が表示されます。

消耗品

システム - 詳細 - 消耗品画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
消耗品	状況を確認できる消耗品が表示されます。
ステータス	各消耗品の残りの寿命が表示されます。 ■ トナーカートリッジ、転写ベルト、定着ユニット、イメージングユニット：% 表示 ■ 廃トナーボトル：レディ、交換時期です、フル
TYPE	トナーカートリッジのタイプが表示されます。 ■ Starter, Standard, High

カウンタ

システム - カウンタ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
ページ数	用紙サイズごとに、これまでに印刷したページ数が表示されます。
印刷枚数（用紙サイズ）	これまでに印刷した部数（合計、両面印刷）が表示されます。
印刷枚数（用紙種類）	用紙種類ごとに、これまでに印刷したページ数が表示されます。

オンラインヘルプ

システム - オンラインヘルプ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
お問い合わせ	プリンタに関する問い合わせ先が表示されます。
お問い合わせ先情報	問い合わせ先の Web サイトの URL が表示されます。
製品ヘルプの URL	製品情報が載っている Web サイトの URL が表示されます。
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL が表示されます。
消耗品情報	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL が表示されます。
お問い合わせ先電話番号	プリンタ管理者の電話番号を表示します。
お問い合わせ住所	サポート先の E-mail アドレスを表示します。
ユーティリティへのリンク	プリンタ管理ユーティリティへのリンクを表示します。

ジョブ画面

この画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

処理中ジョブリスト（上記画面）

ジョブ - 処理中ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の情報を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名を表示します。
ジョブの状態	プリントジョブの現在の状況（印刷中、受信中、Waiting、キャンセル）が表示されます。
登録時刻	ジョブの登録時刻を表示します。

項目	説明
［削除］ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［選択ジョブの削除］ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

処理済ジョブリスト

ジョブ - 処理済ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の情報を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。

項目	説明
終了時刻	印刷が終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル）が表示されます。
［精細］ボタン	詳細画面が表示されます。

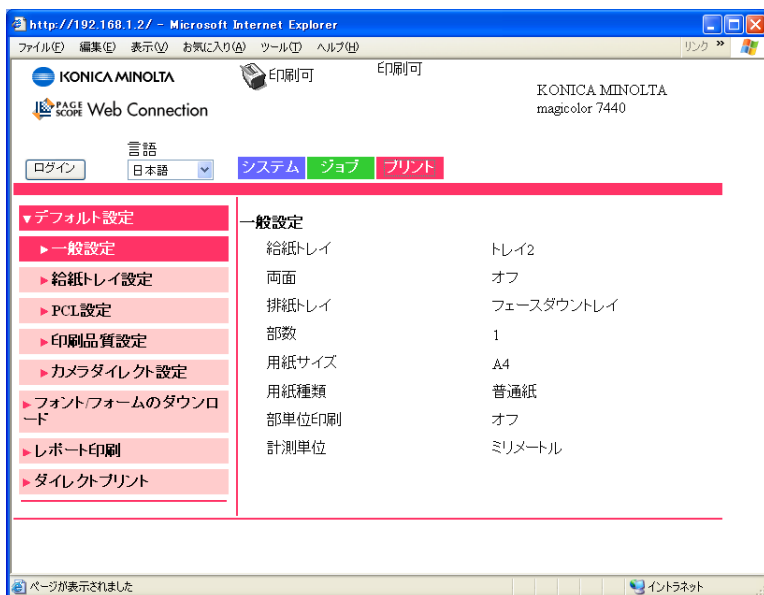
処理済ジョブリスト（詳細）

ジョブ - 処理済ジョブリスト（詳細）画面では、選択されたプリントジョブの以下の情報を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
配信方法	ジョブの配信方法が表示されます。

項目	説明
登録時刻	ジョブを登録した時刻が表示されます。
終了時刻	印刷が終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル）が表示されます。
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。

プリント画面

プリント画面では、PDL プリンタドライバを使わずに印刷する場合の設定値を確認することができます。

デフォルト設定

一般設定（上記画面）

プリント - デフォルト設定 - 一般設定画面では、以下の情報を確認できます。

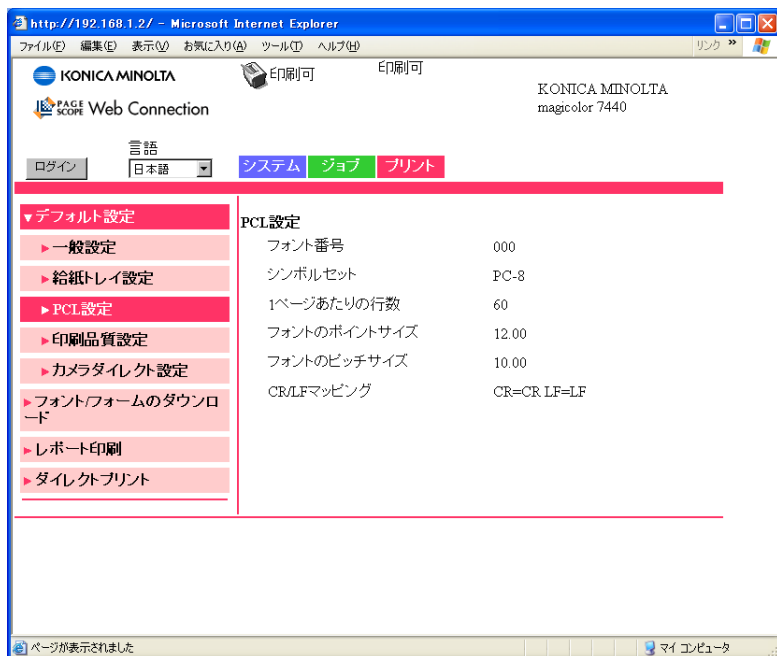
項目	説明
給紙トレイ	通常使用される給紙トレイが表示されます。
両面	「長辺綴じ」が表示されている場合、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴じ」が表示されている場合、短辺綴じで両面印刷されます。 この項目は、オプションの両面プリントユニットが装着されている場合のみ表示されます。
排紙トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。
部数	デフォルトとして設定されている印刷部数が表示されます。
用紙サイズ	デフォルトとして設定されている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	デフォルトとして設定されている用紙の種類が表示されます。
部単位印刷	「オン」が表示されている場合、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 「オフ」が表示されている場合、文書は部単位で印刷されません。 この項目は、オプションのハードディスクが装着されている場合のみ表示されます。
計測単位	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）が表示されます。

給紙トレイ設定

プリント - デフォルト設定 - 給紙トレイ設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目		説明
トレイ 1	用紙サイズ	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙の種類を表示します。

項目		説明
トレイ 2	用紙サイズ	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙の種類を表示します。
	サイズ設定	トレイ 2 の用紙設定を自動で行うか、ユーザ指定で行うかを表示します。
トレイ 3 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 3 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 3 にセットする用紙の種類を選択して設定します。
トレイ 4 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 4 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 4 にセットするよう設定されている用紙の種類を表示します。
トレイ 5 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 5 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 5 にセットするよう設定されている用紙の種類を表示します。
自動トレイ切替え		「有効」が表示されていると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「無効」が表示されていると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。
トレイマッピング	トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかしないかが表示されます。
	論理トレイ 0 ～ 9	他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかが表示されます。

PCL 設定

プリント - デフォルト設定 - PCL 設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォント番号が表示されます。
シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットが表示されます。
1 ページあたりの行数	PCL 言語でのページごとの行数を選択します。
フォントのポイントサイズ	PCL 言語でのフォントのポイントサイズが表示されます。
フォントのピッチサイズ	PCL 言語でのフォントのピッチサイズが表示されます。
CR/LF マッピング	PCL 言語での改行コードの定義が表示されます。

印刷品質設定

http://192.168.1.2/ - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 7440
ログイン
言語
日本語
システム
ジョブ
プリント
▼デフォルト設定
▶一般設定
▶給紙トレイ設定
▶PCL設定
▶印刷品質設定
▶カメラダイレクト設定
▶フォント/フォームのダウンロード
▶レポート印刷
▶ダイレクトプリント
印刷品質設定
カラーモード カラー
カラーセパレーション オフ
明るさ調整 0
PCL印刷設定
コントラスト調整 0
イメージ印刷
ソース sRGB
特性 写真調
グレー再現 4色(CMYK)トナー
スクリーン 精細
テキスト印刷
ソース sRGB
特性 鮮やか
グレー再現 全て黒(K)トナー
スクリーン 高精細
グラフィックス印刷
イメージにあわせる
階調補正
濃度補正 オン
シアン濃度
ハイライト部 0
中間部 0
シャドウ部 0
マゼンタ濃度
ハイライト部 0
中間部 0
シャドウ部 0
イエロー濃度
ハイライト部 0
中間部 0
シャドウ部 0
ブラック濃度
ハイライト部 0
中間部 0
シャドウ部 0
ページが表示されました
マイ コンピュータ

プリント - デフォルト設定 - 印刷品質設定画面では、以下の情報を確認できます。

印刷品質設定

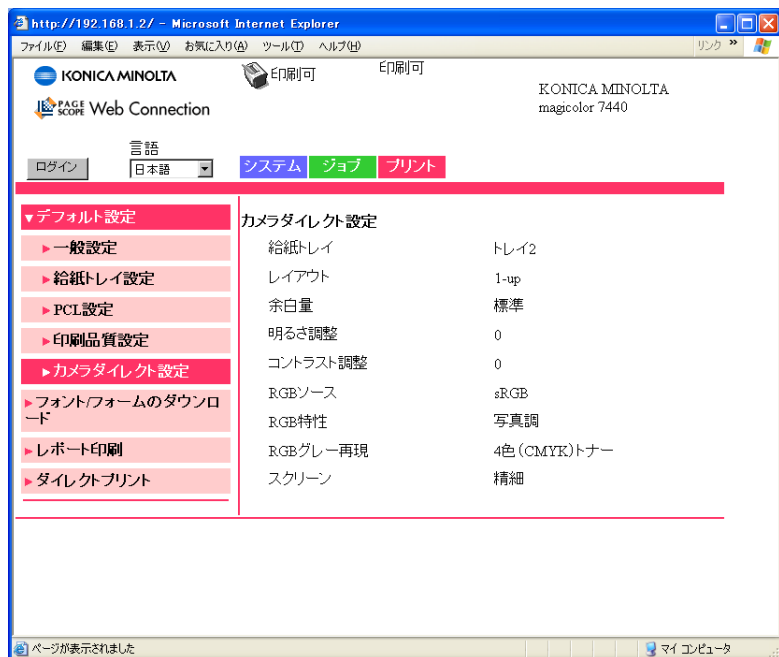
項目	説明
カラーモード	「カラー」が表示されている場合は、フルカラーで印刷されます。「モノクロ」が表示されている場合は、モノクロで印刷されます。
カラーセパレーション	色分解が有効な場合は、「オン」と表示されます。色分解が無効な場合は、「オフ」と表示されます。
明るさ調整	印刷する画像の明るさの設定が表示されます。

PCL 印刷設定

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト調整</td><td>印刷する画像のコントラストの設定が表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">イメージ印刷 / テキスト印刷</td><td>ソース</td><td>イメージ / テキストデータのカラースペースを表示します。</td></tr>
<tr><td>特性</td><td>イメージ / テキストデータを CMYK に変換する時の特性を表示します。</td></tr>
<tr><td>グレー再現</td><td>イメージ / テキストデータの黒色とグレイの再現方法を表示します。</td></tr>
<tr><td>スクリーン</td><td>中間色の再現性を表示します。「高精細」が表示されている場合、高精密に中間色を再現します。「詳細」が表示されている場合、詳細に中間色を再現します。「スムーズ」が表示されている場合、スムーズに中間色を再現します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフィック印刷</td><td>グラフィックの色設定を表示します。</td></tr>
</table>

階調補正

項目	説明
濃度補正	「オン」が表示されている場合、画像調整を行います。「オフ」が表示されている場合、画像調整を行いません。
シアン / マゼンタ / イエロー / ブラック濃度	ハイライト部 / 中間部 / シャドウ部の CMYK 濃度（-3 ～ +3）を表示します。

カメラダイレクト設定

プリント - デフォルト設定 - カメラダイレクト設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	カメラダイレクト印刷で使用する給紙トレイを表示します。 「トレイ 3」、「トレイ 4」、「トレイ 5」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
レイアウト	1 枚の用紙に印刷する画像の数を表示します。 「1-up」が表示されている場合は、1 枚の用紙に一つの画像が印刷されます。
余白量	余白（印刷されない部分）の量を表示します。 「標準」が表示されていると、通常の用紙余白が設定されます。「ミニマム」が表示されていると、余白が縮小されます。
明るさ調整	印刷する画像の明るさの設定を表示します。
コントラスト調整	印刷する画像のコントラストの設定を表示します。

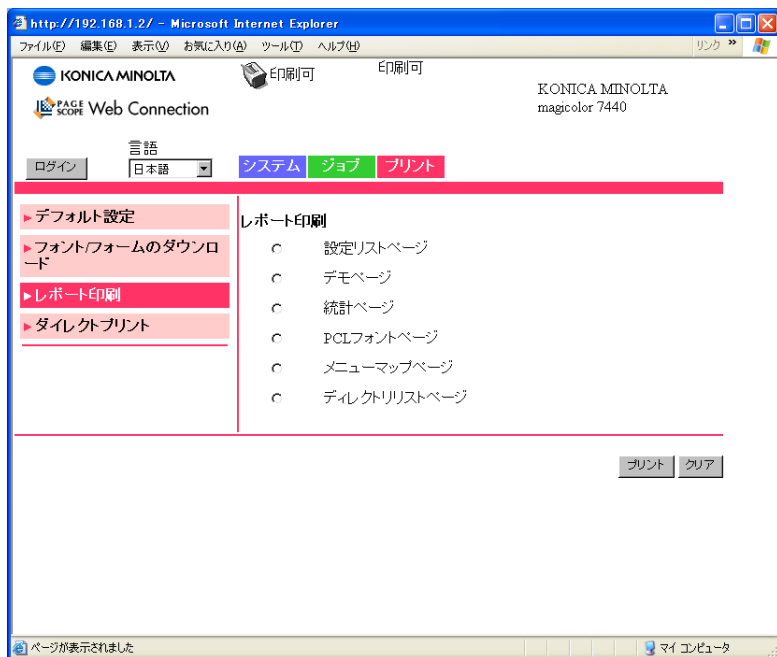
項目	説明
RGB ソース	RGB の画像データのカラースペースを表示します。 「デバイス色」が表示されている場合は、本プリンタのデバイスプロファイルを使用します。
RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を表示します。「鮮やか」が表示されている場合は、鮮やかな出力になります。「写真調」が表示されている場合は、より明るい出力になります。
RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を表示します。 「4 色（CMYK）トナー」が表示されている場合は、CMYK のトナーを使用して再現します。 「全て黒（K）トナー」が表示されている場合は、黒色、グレイともにブラックのトナーを使用して再現します。 「黒のみ黒（K）トナー」が表示されている場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。
スクリーン	中間色の再現性を表示します。 「高精細」が表示されていると、高精密に中間色を再現します。 「精細」が表示されていると、詳細に中間色を再現します。 「スムーズ」が表示されていると、スムーズに中間色を再現します。

フォント / フォームのダウンロード

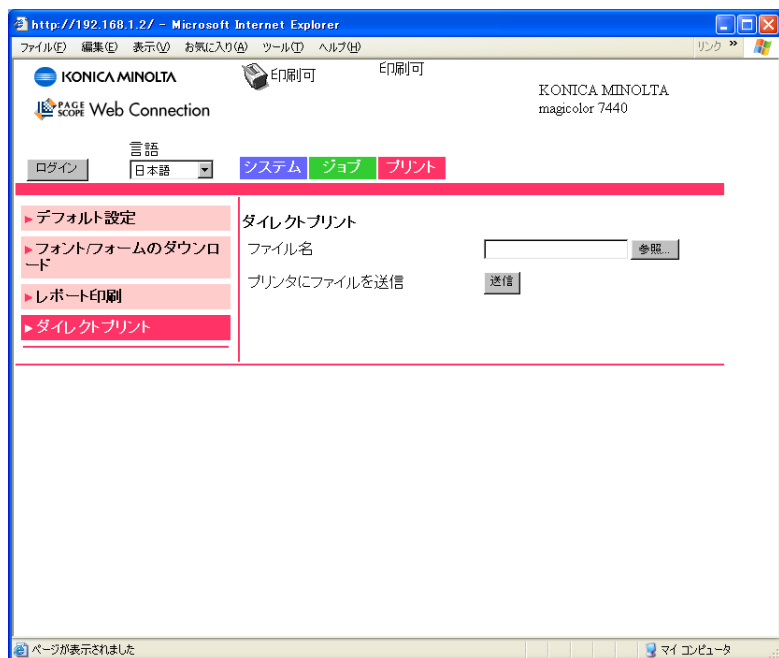
PCL フォント

プリント - フォント / フォームのダウンロード - PCL フォント画面では、プリンタが管理する PCL フォントの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	フォントの管理番号が表示されます。
フォント名	フォント名称が表示されます。
保存場所	フォントの保存場所が表示されます。

レポート印刷

プリント - レポート印刷 画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
設定リストページ	設定リストを印刷します。
デモページ	デモページを印刷します。
統計ページ	印刷枚数などの統計ページを印刷します。
PCL フォントページ	PCL フォントの一覧を印刷します。
メニューマップページ	メニューマップを印刷します。
ディレクトリリストページ	ハードディスクのディレクトリの一覧を印刷します。 この項目は、オプションのハードディスクが装着されているときのみ表示されます。
［プリント］ボタン	選択したページを印刷します。
［クリア］ボタン	項目の選択を解除します。

ダイレクトプリント

プリント - ダイレクトプリント画面では、アプリケーションを起動せずに、直接プリンタからファイルを印刷できます。

ダイレクトプリントの機能を使用するには、プリンタにオプションのハードディスクが装着されている必要があります。

ダイレクトプリントでは、TIF、JPEG 形式のファイルを印刷できます。

項目	説明
ファイル名	印刷するファイルの場所を指定します。 ［参照］ボタンをクリックしてファイルを指定することもできます。
［参照］ボタン	クリックすると、印刷するファイルを参照するダイアログボックスを表示します。
［送信］ボタン	クリックすると、指定したファイルをプリンタへ転送します。

プリンタの設定

PageScope Web Connection を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」（p.53）を参照してください。

システム画面

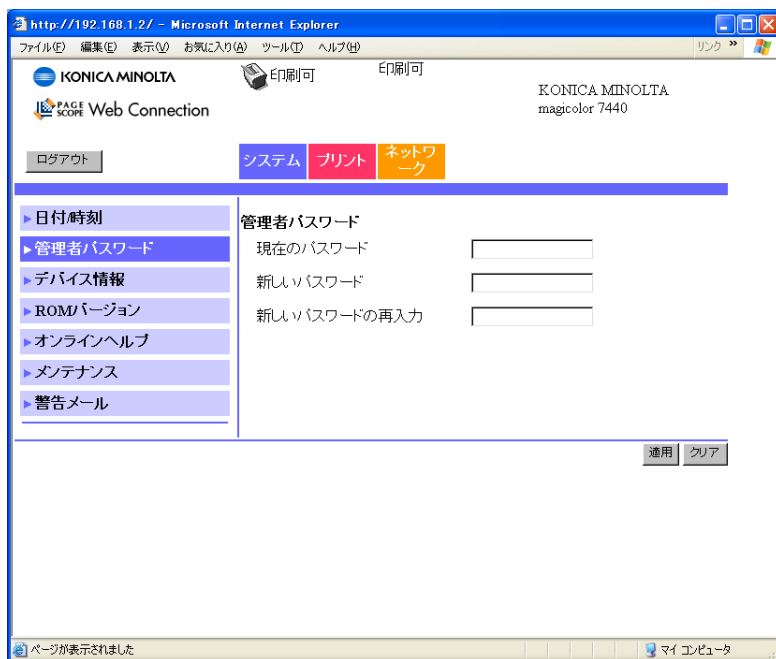
システム画面では、ユーザ設定とプリンタに関する設定を行うことができます。

日付 / 時刻

マニュアル設定（前ページ画面）

システム - 日付 / 時刻 - マニュアル設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
年	プリンタに内蔵されている時計の日付の、年を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 時計設定 / 日付
月	プリンタに内蔵されている時計の日付の、月を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 時計設定 / 日付
日	プリンタに内蔵されている時計の日付の、日を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 時計設定 / 日付
時	プリンタに内蔵されている時計の時刻の、時間を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 時計設定 / 時刻
分	プリンタに内蔵されている時計の日付の、分を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 時計設定 / 時刻
タイムゾーン	E-mail 通知を行うときのタイムゾーンを設定します。

管理者パスワード

システム - 管理者パスワード画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	管理者モードに入るための新しいパスワードを設定します。 初期値：（空白） パスワードは半角16文字までのアルファベット（大文字、小文字）および数字を使用して設定することができます。
パスワードの再入力	確認のため、「新しいパスワード」ボックスに入力したパスワードをもう一度入力します。 いずれかのテキストボックスに入力されたパスワードが異なる場合は、［適用］ボタンをクリックすると「正しいパスワードをもう一度入力してください。」というメッセージが表示されます。 ［OK］ボタンをクリックしてから、両方のテキストボックスにパスワードを入力しなおしてください。

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

新しく設定したパスワードを忘れてしまったときは、プリンタの「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / ﾒﾆｭｰ設定初期化 / 全てのﾒﾆｭｰ」設定メニューでリセットして、パスワードを「空白」に戻してください。（ただし、他のすべてのネットワークの設定も工場出荷時の初期値に戻ります。）

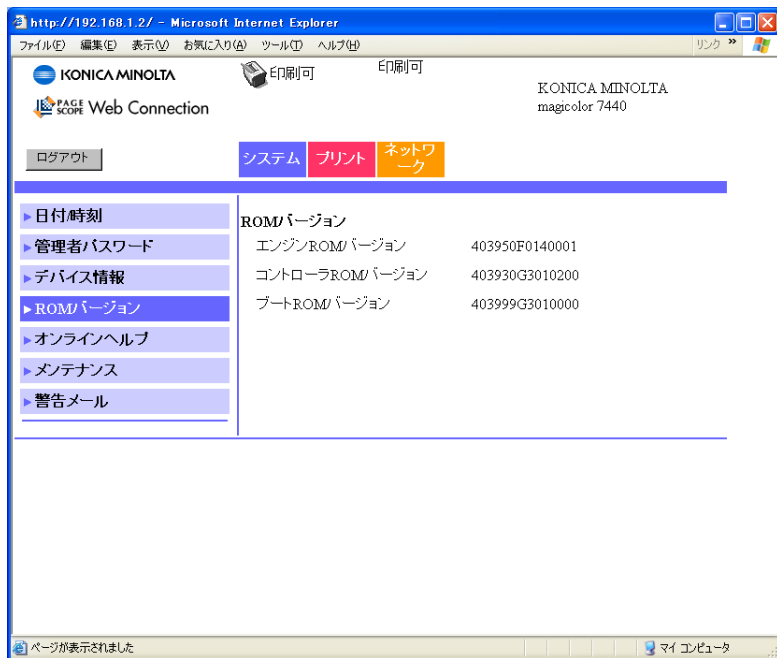
デバイス情報

システム - デバイス情報画面では、以下の項目を設定できます。

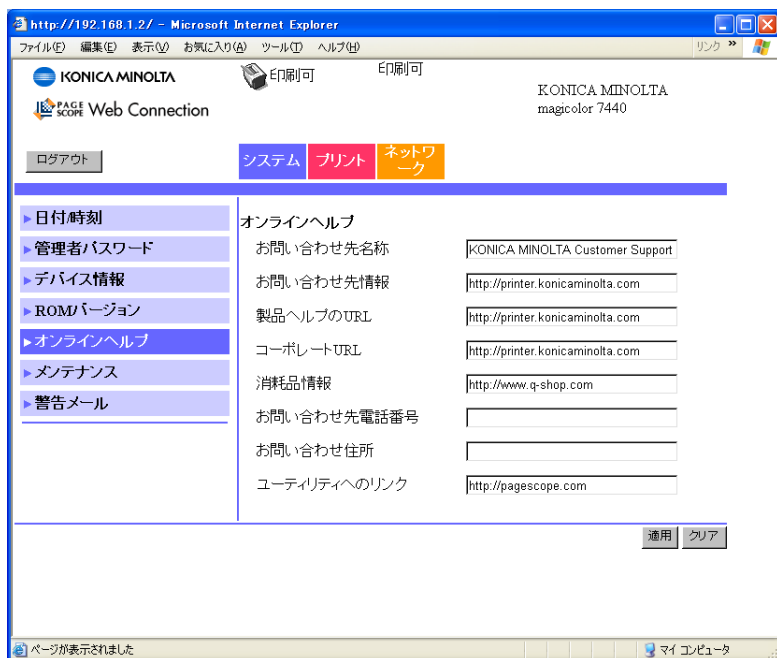
項目	説明
管理者名	プリンタの管理者名を設定します。
デバイス名	プリンタ名を設定します。
デバイスの設置場所	プリンタの設置場所を設定します。
スタートページの印刷	プリンタの電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ｽﾀｰﾄｵﾌﾟｼｮﾝ / ｽﾀｰﾄ ﾍﾟｰｼﾞ

項目	説明
自動継続	プリントジョブの用紙サイズ・種類と、指定した給紙トレイのの用紙サイズ・種類が異なる場合に、印刷を継続するかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / 自動継続
保存ジョブタイムアウト	ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間の設定をします。 「無効」に設定した場合は時間によるプリントジョブの消去を行いません。 設定値：無効、1 時間、4 時間、1 日間、1 週間 初期値：無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / 保存ｼﾞｮﾌﾞﾀｲﾑｱｳﾄ この項目は、オプションのハードディスクが装着されているときのみ表示されます。
節電設定	本プリンタを一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するかどうかを設定します。 「ﾋｰﾀｰｵﾌﾓｰﾄﾞ」に設定した場合、プリンタはいったんすべての機能を停止しますが、パネルを操作したり、データが送られた場合には自動的に節電モードから復帰します。 「ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ」に設定した場合、プリンタの操作パネルは機能し、データが送られた場合にはただちに節電モードから復帰します。 設定値：ヒーターオフモード、スタンバイモード、オフ 初期値：ヒーターオフモード 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / 節電設定
節電時間	節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 本メニューは「節電設定」が「オン」になっている場合のみ表示されます。 設定値：15 分、30 分、1 時間、3 時間 初期値：30 分 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / 節電時間

項目	説明
メニュータイムアウト	メッセージウィンドウにメニュー、ヘルプ画面を表示した状態で何も操作が行なわれなかった場合に、ステータス画面に戻るまでの時間を設定します。 「オフ」に設定した場合は、ステータス画面に戻りません。 設定値：オフ、1 分、2 分 初期値：2 分 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ﾒﾆｭｰ ﾀｲﾑｱｳﾄ
イメージングユニット寿命時の設定	「停止」に設定した場合は、イメージングユニットの寿命時に印刷を停止します。「継続」に設定した場合は、イメージングユニットの寿命時でも印刷を続行します。 設定値：停止、継続 初期値：停止 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ寿命
用紙サイズ自動検出時の基準	用紙自動認識時の単位系を設定します。 設定値：ミリメートル系サイズ、インチ系サイズ 初期値：ミリメートル系サイズ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / 用紙設定 / 用紙ｻｲｽﾞ検出
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

ROM バージョン

システム - ROM バージョン画面では、以下の情報が確認できます。

項目	説明
エンジン ROM バージョン	プリンタエンジンの ROM バージョンが表示されます。
コントローラ ROM バージョン	プリンタコントローラの ROM バージョンが表示されます。
ブート ROM バージョン	ブート ROM のバージョンが表示されます。

オンラインヘルプ

システム - オンラインヘルプ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
お問い合わせ先名称	プリンタに関する問い合わせ先の担当者や組織の名前を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：（空白）
お問い合わせ先情報	プリンタに関する問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
製品ヘルプの URL	プリンタの製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
消耗品情報	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
お問い合わせ先電話番号	プリンタ管理者の電話番号を設定します。 範囲：　半角 31 文字以下 初期値：（空白）
お問い合わせ住所	プリンタ管理者の住所を設定します。 範囲：　半角 320 文字以下 初期値：（空白）
ユーティリティへのリンク	プリンタ管理ユーティリティへのリンクを設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

メンテナンス

設定の初期化

システム - メンテナンス - 設定の初期化画面では、プリンタの設定を工場出荷時の値に戻すことができます。

項目	説明
プリンタ設定	プリンタの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ﾒﾆｭｰ設定初期化 / 用紙 / 品質 / ｼｽﾃﾑ
ネットワーク設定	ネットワークの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ﾒﾆｭｰ設定初期化 / ﾈｯﾄﾜｰｸ
全ての設定	すべての設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ﾒﾆｭｰ設定初期化 / 全てのﾒﾆｭｰ
［クリア］ボタン	クリックすると、「工場出荷時設定に戻しても良いですか？」というメッセージが表示されます。 ［OK］をクリックすると、プリンタが自動的に再起動し、設定を工場出荷時の値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

プリンタのリセット

システム - メンテナンス - プリンタのリセット画面では、プリンタコントローラをリセットすることができます。

項目	説明
［リセット］ボタン	クリックすると、「プリンタをリセットしても良いですか？」というメッセージが表示されます。 ［OK］をクリックすると、プリンタコントローラをリセットします。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

警告メール

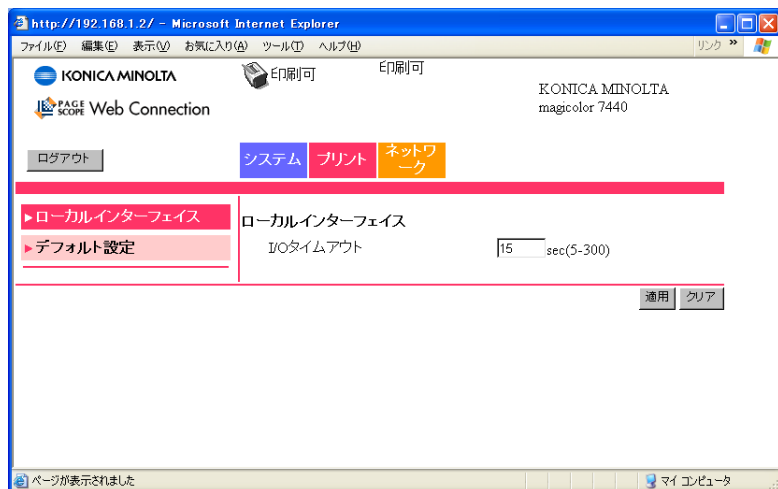
システム - 警告メール画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
警告メール	電子メール通知	プリンタに警告が発生した時に、メールで通知を行うかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	通知電子メールアドレス	通知を行うメールアドレスを設定します。 範囲：半角 320 文字以下 初期値：（空白）

項目		説明
警告	用紙なし	用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	紙詰まり	紙詰まりを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	メンテナンス	定期点検時期を通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	トナーなし	トナーがないことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	オペレータコール	オペレーターを呼ぶ必要があることを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	サービスコール	用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	ジョブ完了	印刷ジョブが正常終了したことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	ジョブエラー	エラーが発生して印刷できなかったジョブがあることを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

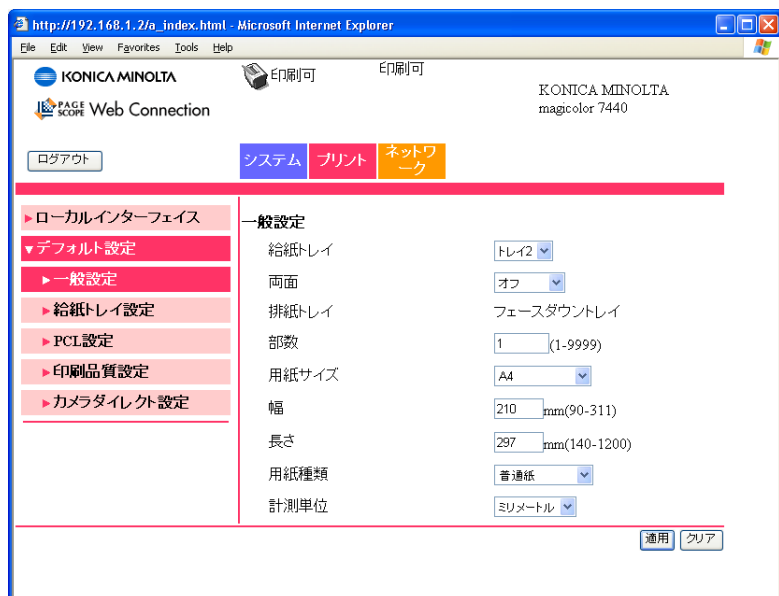
プリント

プリント画面では、より詳細なプリンタの設定を行うことができます。

ローカルインターフェイス

プリント - ローカルインターフェイス画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
I/O タイムアウト	受信タイムアウト（秒）を設定します。 範囲：5 ～ 300 初期値：15
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

デフォルト設定

一般設定

プリント - デフォルト設定 - 一般設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
給紙トレイ	通常使用される給紙トレイを選択します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / 優先ﾄﾚｲ
両面	「長辺綴じ」を選択すると、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴じ」を選択すると、短辺綴じで両面印刷されます。 設定値：オフ、短辺綴じ、長辺綴じ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 両面印刷 この項目は、オプションの両面プリントユニットが装着されている場合のみ表示されます。
排紙トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。

項目	説明
部数	デフォルトの印刷部数を設定します。 範囲：1 ～ 9999 初期値：1 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 印刷枚数
用紙サイズ	デフォルトの用紙のサイズを設定します。
幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の幅を設定します。 範囲：90 mm ～ 311 mm/3.55 インチ～ 12.25 インチ
長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の長さを設定します。 範囲：140 mm ～ 1200 mm/5.50 インチ～ 47.24 インチ
用紙種類	デフォルトの用紙種類を選択します。 設定値：任意、普通紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、ラベル紙、OHP フィルム、OHP フィルム 2、封筒、ハガキ、レターヘッド、光沢紙 初期値：普通紙
部単位印刷	「オン」に設定すると、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 「オフ」に設定すると、文書は部単位で印刷されません。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 部単位印刷 この項目は、オプションのハードディスクが装着されている場合のみ表示されます。
計測単位	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）を選択します。 設定値：インチ、ミリメートル 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 計測単位
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

給紙トレイ設定

http://192.168.1.2/ - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 7440
ログアウト
システム
プリント
ネットワーク
ローカルインターフェイス
デフォルト設定
一般設定
給紙トレイ設定
PCL設定
印刷品質設定
カメラダイレクト設定
給紙トレイ設定
トレイ1
用紙サイズ
A4
幅
210
mm(90-311)
長さ
297
mm(140-1200)
用紙種類
普通紙
トレイ2
用紙サイズ
A4
用紙種類
普通紙
サイズ設定
自動サイズ検出
自動トレイ切り替え
自動トレイ切り替え
有効
トレイマッピング
トレイマッピングモード
オフ
論理トレイ0
物理トレイ2
論理トレイ1
物理トレイ1
論理トレイ2
物理トレイ2
論理トレイ3
物理トレイ2
論理トレイ4
物理トレイ2
論理トレイ5
物理トレイ2
論理トレイ6
物理トレイ2
論理トレイ7
物理トレイ2
論理トレイ8
物理トレイ2
論理トレイ9
物理トレイ2
適用
クリア
ページが表示されました
マイ コンピュータ

プリント - デフォルト設定 - 給紙トレイ設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
トレイ 1	用紙サイズ	トレイ 1 にセットする用紙のサイズを選択します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1/ 用紙ｻｲｽﾞ
	幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の幅を設定します。 範囲：90 mm ～ 311 mm/3.55 インチ～ 12.25 インチ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1/ ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ
	長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の長さを設定します。 範囲：140 mm ～ 1200 mm/5.50 インチ～ 47.24 インチ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1/ ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 1 にセットする用紙の種類を選択します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1/ 用紙種類
トレイ 2	用紙サイズ	トレイ 2 にセットする用紙のサイズを選択します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 2/ 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 2 にセットする用紙の種類を選択します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 2/ 用紙種類
	サイズ設定	トレイ 2 の用紙設定を自動で行うか、ユーザ指定で行うかを設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 2/ ｻｲｽﾞ 設定
トレイ 3 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 3 にセットされている用紙のサイズを表示します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 3/ 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 3 にセットされている用紙の種類を表示します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 3/ 用紙種類

項目		説明
トレイ 4 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 4 にセットされている用紙のサイズを表示します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 4/ 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 4 にセットされている用紙の種類を表示します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 4/ 用紙種類
トレイ 5 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 5 にセットされている用紙のサイズを表示します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 4/ 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 5 にセットされている用紙の種類を表示します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 4/ 用紙種類
自動トレイ切替え	自動トレイ切替え	「有効」を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「無効」を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。 設定値：有効、無効 初期値：有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / 自動ﾄﾚｲ切替え
トレイマッピング	トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ / ﾄﾚｲﾏｯﾋﾟﾝｸﾞﾓｰﾄﾞ

項目		説明
	論理トレイ０～９	他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 「論理ﾄﾚｲ 1」のみ工場出荷時の設定値が「物理ﾄﾚｲ 1」に設定されています。「論理ﾄﾚｲ 1」以外は、「物理ﾄﾚｲ 2」が工場出荷時の設定値です。 設定値：物理ﾄﾚｲ 1、物理ﾄﾚｲ 2、物理ﾄﾚｲ 3、物理ﾄﾚｲ 4、物理ﾄﾚｲ 5 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ / 論理ﾄﾚｲ０～９ 「物理ﾄﾚｲ 3」、「物理ﾄﾚｲ 4」、「物理ﾄﾚｲ 5」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

PCL 設定

プリント - デフォルト設定 - PCL 設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォント番号を設定します。 範囲：0 ～ 102 初期値：0
シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットが表示されます。 初期値：PC-8
1 ページあたりの行数	PCL 言語でのページごとの行数を選択します。 範囲：5 ～ 128 初期値：60 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ /PCL/ ﾌｫｰﾑﾗｲﾝ

項目	説明
フォントのポイントサイズ	PCL 言語でのフォントのポイントサイズを設定します。 範囲：4.00 ～ 999.75 初期値：12.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ /PCL/ ﾌｫﾝﾄｿｰｽ / ﾎﾟｲﾝﾄｻｲｽﾞ
フォントのピッチサイズ	PCL 言語でのフォントのピッチサイズを設定します。 範囲：0.44 ～ 99.99 初期値：10.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ /PCL/ ﾌｫﾝﾄｿｰｽ / ﾋﾟｯﾁｻｲｽﾞ
CR/LF マッピング	PCL 言語での改行コードの定義を選択します。 設定値：CR=CR LF=LF、CR=CRLF LF=LF、CR=CR LF=LFCR、CR=CRLF LF=LFCR 初期値：CR=CR LF=LF 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ / ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ /PCL/ 改行ｺｰﾄﾞ
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
[ログアウト] ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

印刷品質設定

http://192.168.1.2/ - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
リンク
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
印刷可
印刷可
KONICA MINOLTA
magicolor 7440
ログアウト
システム
プリント
ネットワーク
ローカルインターフェイス
デフォルト設定
一般設定
給紙トレイ設定
PCL設定
印刷品質設定
カメラダイレクト設定
印刷品質設定
カラーモード
カラー
カラーセパレーション
オフ
明るさ調整
0
PCL印刷設定
コントラスト調整
0
イメージ印刷
ソース
sRGB
特性
写真調
グレー再現
4色(CMYK)トナー
スクリーン
精細
テキスト印刷
ソース
sRGB
特性
鮮やか
グレー再現
全て黒(K)トナー
スクリーン
高精細
グラフィックス印刷
イメージにあわせる
階調補正
濃度補正
オン
シアン濃度
ハイライト部
0
中間部
0
シャドウ部
0
マゼンタ濃度
ハイライト部
0
中間部
0
シャドウ部
0
イエロー濃度
ハイライト部
0
中間部
0
シャドウ部
0
ブラック濃度
ハイライト部
0
中間部
0
シャドウ部
0
適用
クリア
ページが表示されました
マイ コンピュータ

プリント - デフォルト設定 - 印刷品質設定画面では、以下の項目を設定できます。

印刷品質設定

項目	説明
カラーモード	「カラー」を選択すると、フルカラーで印刷されます。「モノクロ」を選択すると、モノクロで印刷されます。 設定値：カラー、モノクロ 初期値：カラー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ
カラーセパレーション	「オン」に設定すると、色分解を有効にします。「オフ」に設定すると、色分解を無効にします。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｶﾗｰｾﾊﾟﾚｰｼｮﾝ
明るさ調整	印刷する画像の明るさを設定します。 設定値：+15%、+10%、+5%、0、-5%、-10%、-15% 初期値：0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / 明るさ調整

PCL 印刷設定

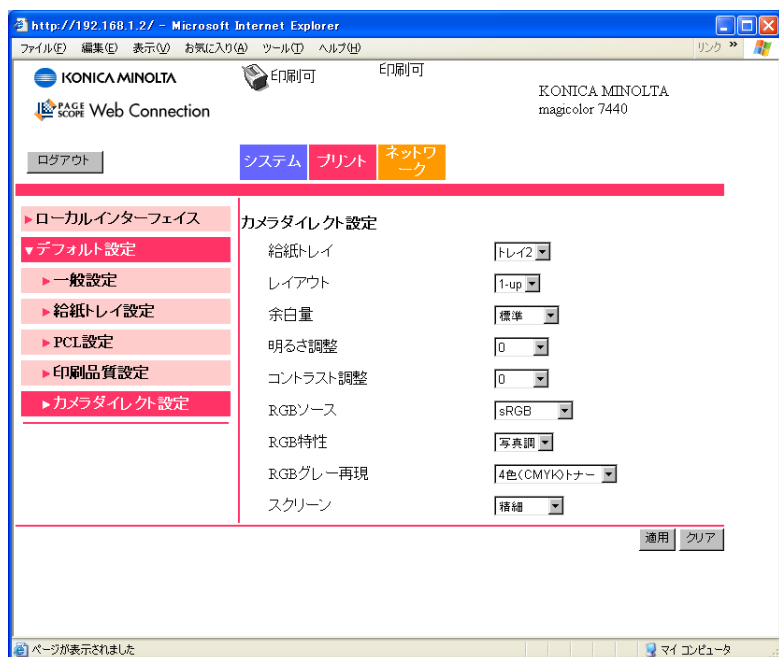
項目		説明
コントラスト調整		印刷する画像のコントラストを設定します。 設定値：+15%、+10%、+5%、0、-5%、-10%、-15% 初期値：0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｺﾝﾄﾗｽﾄ
イメージ印刷	ソース	イメージデータのカラースペースを設定します。 初期値：sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ印刷 /RGB ｿｰｽ

項目		説明
	特性	イメージデータを CMYK に変換する時の特性を設定します。 設定値：鮮やか、写真調 初期値：写真調 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ 印刷 /RGB 特性
	グレー再現	イメージデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。 設定値：4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値：4 色（CMYK）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ 印刷 / ｸﾞﾚｰ再現
	スクリーン	中間色の再現性を設定します。「高精細」を選択すると、高精密に中間色を再現します。「精細」を選択すると、詳細に中間色を再現します。「スムーズ」を選択すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値：高精細、精細、スムーズ 初期値：精細 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ 印刷 / ｽｸﾘｰﾝ
テキスト印刷	ソース	テキストデータのカラースペースを設定します。 初期値：sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ﾃｷｽﾄ印刷 /RGB ｿｰｽ
	特性	テキストデータを CMYK に変換する時の特性を設定します。 設定値：鮮やか、写真調 初期値：鮮やか 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ﾃｷｽﾄ印刷 /RGB 特性
	グレー再現	テキストデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。 設定値：4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値：全て黒（K）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ﾃｷｽﾄ印刷 / ｸﾞﾚｰ再現

項目		説明
	スクリーン	中間色の再現性を設定します。「高精細」を選択すると、高精密に中間色を再現します。「精細」を選択すると、詳細に中間色を再現します。「スムーズ」を選択すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値：高精細、精細、スムーズ 初期値：高精細 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ﾃｷｽﾄ印刷 / ｽｸﾘｰﾝ
グラフィック印刷		グラフィックの色設定を選択します。 設定値：イメージにあわせる、テキストにあわせる 初期値：ｲﾒｰｼﾞにあわせる 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷

階調補正

項目	説明
濃度補正	「オン」を選択すると、画像調整を行います。「オフ」を選択すると、画像調整を行いません。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / 階調補正 / 濃度補正
シアン / マゼンタ / イエロー / ブラック濃度	ハイライト部 / 中間部 / シャドウ部の CMYK 濃度を設定します。 設定値：-3、-2、-1、0、+1、+2、+3 初期値：0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ / 階調補正 /CMYK 濃度調整

カメラダイレクト設定

プリント - デフォルト設定 - カメラダイレクト設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
給紙トレイ	カメラダイレクト印刷で使用する給紙トレイを選択します。 設定値： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 初期値： トレイ 2 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ 「トレイ 3」、「トレイ 4」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
レイアウト	1 枚の用紙に印刷する画像の数を設定します。 「1-up」に設定した場合は、1 枚の用紙に一つの画像が印刷されます。 設定値： 1-up、2-up、3-up、4-up、6-up、8-up 初期値： 1-up 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / ﾚｲｱｳﾄ

項目	説明
余白量	余白（印刷されない部分）の量を設定します。 「標準」に設定すると、通常の用紙余白が設定されます。 「ミニマム」に設定すると、余白が縮小されます。 設定値： 標準、ミニマム 初期値： 標準 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / 余白量
明るさ調整	印刷する画像の明るさを調節します。 設定値： -15%、-10%、-5%、0、+5%、+10%、+15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ 品質 / 明るさ調整
コントラスト調整	印刷する画像のコントラストを調節します。 設定値： -15%、-10%、-5%、0、+5%、+10%、+15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ 品質 / ｺﾝﾄﾗｽﾄ
RGB ソース	RGB の画像データのカラースペースを設定します。 「Device Color」を選択した場合は、本プリンタのデバイスプロファイルを使用します。 設定値： Device Color、sRGB 初期値： sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ 品質 /RGB ｿｰｽ
RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。 「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。 設定値： 鮮やか、写真調 初期値： 写真調 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ 品質 /RGB 特性

項目	説明
RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を設定します。「4 色（CMYK）トナー」を選択した場合は、CMYK のトナーを使用して再現します。「全て黒（K）トナー」を選択した場合は、黒色、グレイともにブラックのトナーを使用して再現します。「黒のみ黒（K）トナー」を選択した場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。 設定値： 4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値： 4 色（CMYK）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ品質 / ｸﾞﾚｰ再現
スクリーン	中間色の再現性を設定します。 「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。「精細」に設定すると、詳細に中間色を再現します。「スムーズ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値： 高精細、精細、スムーズ 初期値： 精細 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ / ｲﾒｰｼﾞ品質 / ｽｸﾘｰﾝ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、ネットワークの設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第 4 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

TCP/IP

TCP/IP（上記画面）

ネットワーク - TCP/IP - TCP/IP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
TCP/IP	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/ 有効

項目	説明
速度	イーサネットの動作モードと速度を設定します。 設定値：自動、10BASE FULL、10BASE HALF、100BASE FULL、100BASE HALF、1000BASE FULL 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /SPEED/DUPLEX
Auto IP	プリンタの IP アドレスの自動割り当て方法を設定します。 設定値：DHCP/BOOTP 初期値：（選択ずみ） 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/DHCP/BOOTP
IP アドレス *	プリンタの IP アドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：000.000.000.000 範囲外の数値の IP アドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/IP ｱﾄﾞﾚｽ
サブネットマスク *	プリンタのサブネットマスクアドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：255.255.000.000 範囲外の数値のサブネットマスクアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/ ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
デフォルト ゲートウェイ *	ネットワークでルータを使用している場合は、ルータのアドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：000.000.000.000 範囲外の数値のルータのアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/ ｹﾞｰﾄｳｪｲ

項目	説明
RAW ポート番号	プリンタの TCP/IP ポートの RAW ポート番号が表示されます。 設定値：設定不可 初期値：9100
ホスト名	ホスト名を設定します。 初期値：MC7440-XXXXXX XXXXXX には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。 初期値：（空白）
DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。最大 3 つまで登録できます。 初期値：0.0.0.0
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

NetWare

NetWare

ネットワーク - NetWare - NetWare 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
NetWare	NetWare 印刷	NetWare を有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /NETWARE
	フレームタイプ	フレームタイプを選択します。 設定値：自動、Ethernet802.2、Ethernet 802.3、Ethernet II、Ethernet SNAP 初期値：自動
	モード	NetWare の設定モードを選択します。 設定値：PServer、NPrinter/RPrinter 初期値：PServer
PServer	プリントサーバ名	プリンタのプリントサーバ名を設定します。 範囲：半角 47 文字以下 初期値：MC7440-XXXXXX XXXXXX には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	プリントサーバーパスワード	プリントサーバのパスワードを設定します。 範囲：半角 31 文字以下 初期値：（空白）
	パスワードの再入力	プリントサーバーパスワードテキストボックスに入力された、新しいパスワードを確認します。 範囲：半角 31 文字以下 初期値：（空白）
	プリントキュー取得間隔	キュースキャン間隔を設定します。 範囲：1 ～ 65535（秒） 初期値：1
	バインダリ / NDS	バインダリの設定を行います。 設定値：NDS、バインダリ /NDS、バインダリ 初期値：NDS

項目		説明
	優先ファイルサーバ	プリンタの優先ファイルサーバを設定します。 範囲：半角 47 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS コンテキスト名	プリンタの優先 NDS コンテキストを設定します。 範囲：半角 191 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS ツリー名	プリンタの優先 NDS ツリーを設定します。 範囲：半角 191 文字以下 初期値：（空白）
Nprinter/ Rprinter	プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：半角 47 文字以下 初期値：MC7440-XXXXXX XXXXXX には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	プリンタ番号	プリンタ番号を設定します。 範囲：0 ～ 255 初期値：255
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

NetWare ステータス

ネットワーク - NetWare - NetWare ステータス画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ファイルサーバ	NetWare のファイルサーバを表示します。
キュー名	NetWare のキュー名を表示します。
キューの状態	NetWare のキューの状態を表示します。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
[ログアウト] ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

IPP

ネットワーク - IPP 画面では以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 4 章 " ネットワーク印刷 " を参照してください。

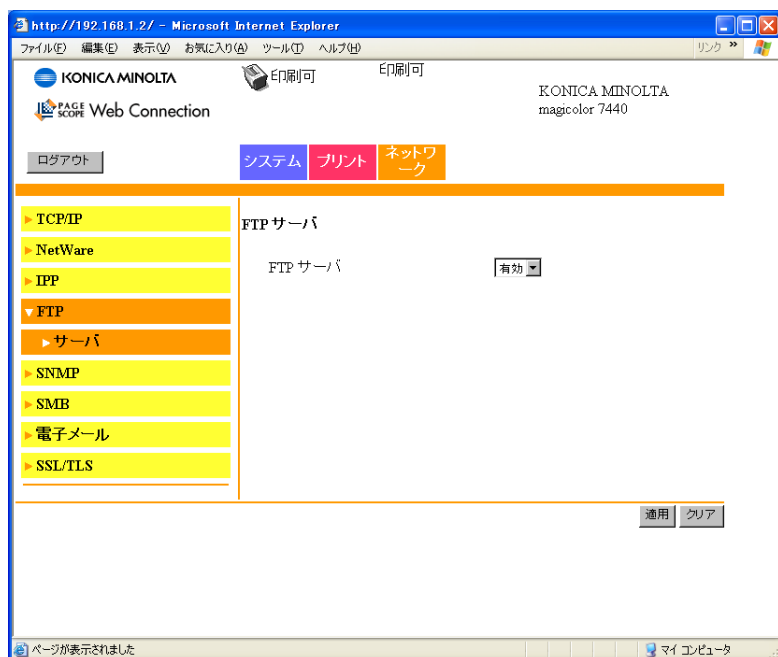
設定を有効にするためには、設定後にプリンタを再起動してください。

項目	説明
IPP 印刷	IPP を有効にするかどうかを選択します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効

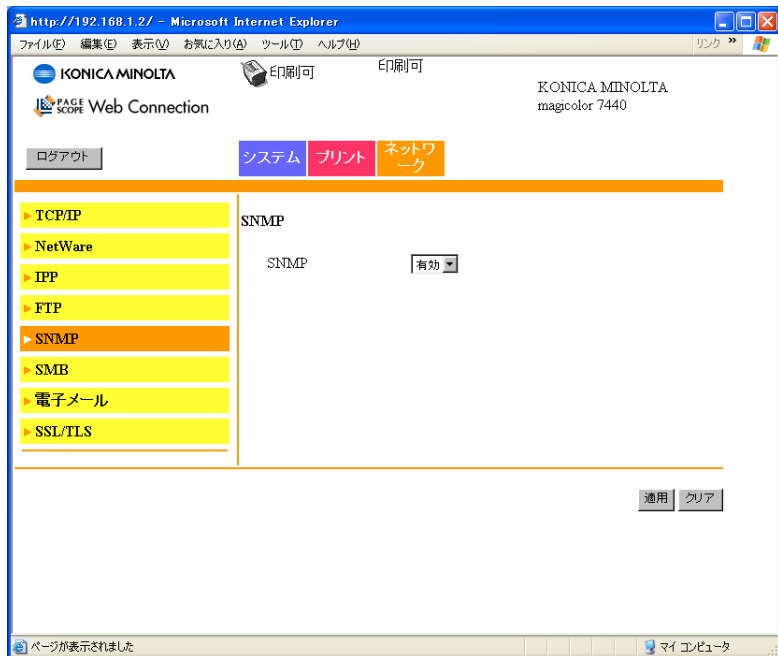
項目	説明
IPP ジョブの受信	IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
プリンタの場所	プリンタが設置してある場所を入力します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
プリンタの情報	プリンタの情報が表示されます。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
プリンタ URI	プリンタの URI、認証、セキュリティが表示されます。 範囲：　設定不可 初期値： – http://192.168.1.2/ipp RequestingUser-Name None – http://192.168.1.2:80/ipp Requestin-gUserName None – ipp://192.168.1.2:80/ipp Requestin-gUserName None – http://192.168.1.2:631/ipp Requestin-gUserName None – ipp://192.168.1.2/ipp RequestingUser-Name None – ipp://192.168.1.2:631/ipp Requestin-gUserName None

項目		説明
サポートする操作	ジョブのプリント	この項目をチェックすると、ジョブがプリントできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの確認	この項目をチェックすると、プリントジョブを確認できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブのキャンセル	この項目をチェックすると、ジョブをキャンセルできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブ属性の取得	この項目をチェックすると、ジョブの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの取得	この項目をチェックすると、ジョブを取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	プリンタ属性の取得	この項目をチェックすると、プリンタの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

FTP

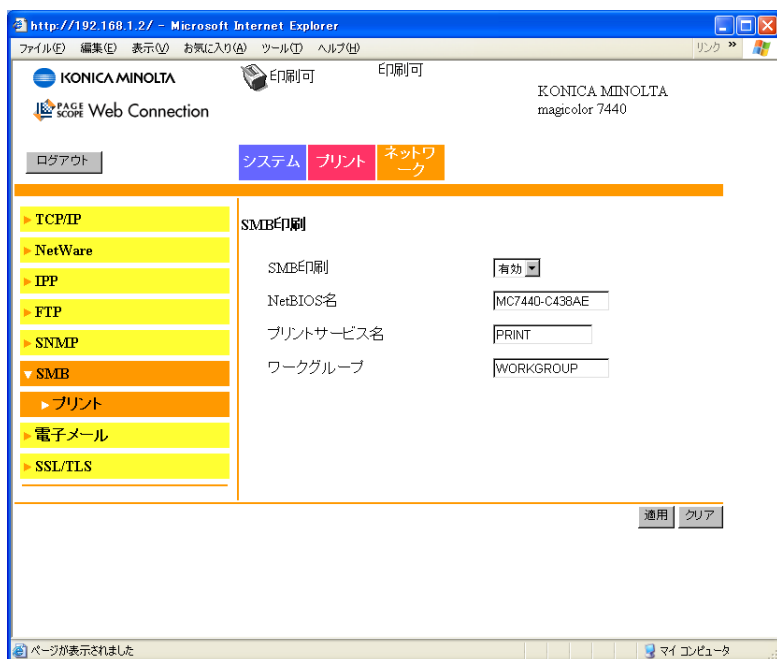
サーバ

ネットワーク - FTP - サーバ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
FTP サーバ	FTP サーバを有効にするかどうかを選択します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SNMP

ネットワーク - SNMP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
SNMP	SNMP を有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SMB

プリント

ネットワーク - SMB - プリント画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
SMB 印刷	SMB 印刷を有効にするかどうかを選択します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名を設定します。 範囲 : 半角 15 文字以下 初期値 : MC7440-XXXXXX XXXXXX には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
プリントサービス名	プリントサービスの名前を設定します。 範囲 : 半角 12 文字以下 初期値 : PRINT

項目	説明
ワークグループ	ワークグループ名を設定します。 範囲：半角 15 文字以下 初期値：WORKGROUP
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

電子メール

電子メールの送信

ネットワーク - 電子メール - 電子メールの送信画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
送信	「有効」を選択すると、電子メールの送信が有効になります。 設定値：有効、無効 初期値：有効
SMTP サーバアドレス	メール送信サーバのアドレスを設定します。 範囲：半角 255 文字以下 初期値：0.0.0.0
ポート番号	メール送信サーバのポート番号を設定します。 範囲：1 ～ 65535 初期値：25
接続タイムアウト	メール送信時の接続タイムアウト時間を設定します。 範囲：30 ～ 300（秒） 初期値：60
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SSL/TLS 情報

ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TSL 情報画面では、SSL/TLS の設定を行うことができます。

SSL/TLS は、デフォルトではインストールされていません。［設定］ボタンをクリックすると、証明書を自己作成して SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
［設定］ボタン	クリックすると、SSL/TLS 設定画面が表示されます。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SSL/TLS 設定

ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 設定画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
証明書の自己作成	証明書を自己作成します。
証明書の要求	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
証明書のインストール	認証局が発行した証明書をインストールします。
SSL/TLS 暗号化強度の設定	暗号化の強度を設定できます。また、SSL/TLS を無効に設定することもできます。 証明書がインストールされていない場合、この項目は表示されません。
証明書の破棄	証明書を破棄します。 証明書がインストールされていない場合、この項目は表示されません。

項目	説明
SSL/TLS で通信するモード	SSL で通信するモードを設定します。 証明書がインストールされていない場合、この項目は表示されません。
［次へ］ボタン	クリックすると、選択した画面が表示されます。
［キャンセル］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

自己作成証明書の設定

ネットワーク - SSL/TLS - 自己作成証明書の作成画面では、証明書を自己発行して、SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
Common Name	FQDN もしくはホスト名が表示されます。

項目	説明
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Locality	市町村名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
Country	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：半角 2 文字以下 初期値：（空白）
有効期間開始日	現在時刻が表示されます。
有効期間	有効期間を設定します。 範囲：1 ～ 3650（日） 初期値：（空白）
暗号化の強度	暗号の強度を選択します。 設定値： – 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – DES_56bits or RC4_40bits 初期値：3DES_168bits,RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［作成］ボタン	クリックすると、自己証明書を作成します。 証明書を作成するために数分かかります。
［戻る］ボタン	ネットワーク - SSL/TSL - SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

証明書の要求

ネットワーク - SSL/TLS - 証明書の要求画面では、以下の項目が設定できます。

項目	説明
Common Name	FQDN またはホスト名を表示します。
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Locality	市町村名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
Country	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：半角 2 文字以下 初期値：（空白）
［次へ］ボタン	クリックすると、証明書発行のための要求データを作成します。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TSL - SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

証明書の要求

ネットワーク - SSL/TLS - 証明書の要求画面では、認証局に提出する、証明書発行要求用のデータを表示します。

項目	説明
証明書の要求	認証局に提出する、証明書発行用のデータを表示します。
［保存］ボタン	クリックすると、証明書発行要求用データを、名前を付けて保存します。
［OK］ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 情報画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

証明書のインストール

ネットワーク - SSL/TLS - 証明書のインストール画面では、認証局から発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
証明書のインストール	認証局から送られてきたテキスト形式の CSR（Certificate Signing Request）を貼り付けます。
［次へ］ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - 暗号化の強度の設定画面を表示します。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 設定画面を表示します。
［キャンセル］ボタン	クリックすると、入力されたデータを無効にして、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 情報画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

暗号化強度の設定

ネットワーク - SSL/TLS - 暗号化強度の設定画面では、暗号化の強度を設定できます。

項目	説明
暗号化の強度	暗号の強度を選択します。 設定値： – 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – DES_56bits or RC4_40bits 初期値：3DES_168bits,RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［作成］ボタン	クリックすると、暗号化の強度を設定します。 ネットワーク - SSL/TLS - 証明書のインストール画面から移動してきた場合には、証明書をインストールします。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 情報画面を表示します。
［キャンセル］ボタン	クリックすると、直前の画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

証明書の破棄

ネットワーク - SSL/TLS - 証明書の破棄画面では、インストールされている証明書を削除できます。

項目	説明
［OK］ボタン	クリックすると、確認画面を表示します。確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、証明書が削除されます。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 情報画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SSL/TLS で通信するモード

ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS で通信するモード画面では、SSL で通信するモードを設定できます。

項目	説明
SSL/TLS で通信するモード	SSL で通信するモードを選択します。 設定値：なし、管理者モードとユーザーモード 初期値：なし
[OK] ボタン	クリックすると、確認画面を表示します。確認画面で [OK] ボタンをクリックすると、証明書が削除されます。
[戻る] ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	クリックすると、ネットワーク - SSL/TLS - SSL/TLS 情報画面に戻ります。
[ログアウト] ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

索引

B

C

D

F

H

I

L

N

P

S

T

W

い

は

ふ

ほ

ゆ

れ